

# 2

# 運 転 す る 前 に

## 各部の開閉

キー	2-2
キーレスアクセスによる施錠・解錠	2-9
電波式リモコンドアロックによる施錠・解錠	2-19
ドア	2-22
盗難警報装置	2-26
チャイルドプルーフ	2-32
パワーウィンドウ	2-33
フューエルリッド（燃料補給口）	2-37
ボンネット	2-39
リヤゲート（ワゴン）	2-41
トランク（セダン）	2-43
電動ガラスサンルーフ	2-45

## シート

正しい運転（乗車）姿勢	2-48
フロントシート	2-50
リヤシート（ワゴン）	2-58
リヤシート（セダン）	2-62

## シートベルト

シートベルトの正しい着用	2-65
フロントシートベルト	2-68
リヤシートベルト	2-71

## お子さまの安全

お子さま専用シート	2-75
シートベルトで固定するチャイルドシートについて	2-78
ISO FIX固定バー方式で固定するチャイルドシートについて	2-82

## ハンドルとミラーの調整

チルト/テレスコピックステアリング	2-89
ルームミラー	2-89
ドアミラー	2-90

# 各部の開閉

## キー

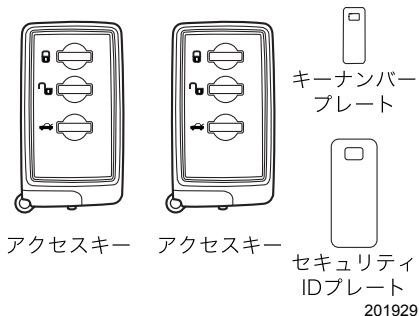
キーはドアの施錠、解錠、エンジンの始動、停止に使います。

### アドバイス

- キーナンバープレートとセキュリティIDプレート（イモビライザー機能装備車）は、車両修理や合いかぎを作る際に必要となりますので、大切に保管してください。キーを作るときは、スバル販売店にご相談ください。
- 盗難または事故防止のため、キーナンバープレートとセキュリティIDプレートは車内に置かないでください。また、万一に備えてキーナンバーとセキュリティID（イモビライザー機能装備車）をメモしておいてください。
- 万一、キーを紛失したときは、盗難または事故などを防ぐため、直ちにスバル販売店にご相談ください。
- スペアのアクセスキーまたはリモコンキーが必要な場合は、スバル販売店にご相談ください。

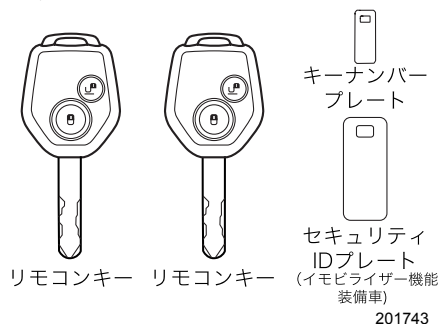
## ■キーの種類

### ●キーレスアクセス&プッシュスタート装着車

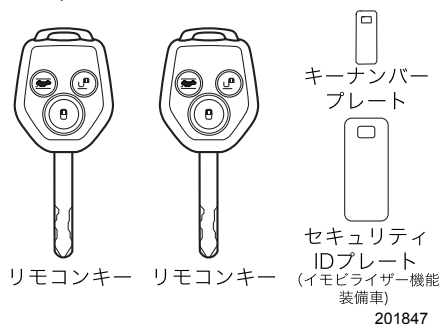


### ●キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外

#### <ワゴン>



#### <セダン>



 **警告**

キーレスアクセス&プッシュスタートシステムにおいて、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の機器を装着されている方は、車両側発信アンテナから約22 cm以内の範囲に植込み型心臓ペースメーカーなどを近づけないようにしてください。

車両側発信アンテナの電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を装着されている方は、後述の“キーレスアクセス&プッシュスタートで使用している電波について”を参考に医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。車両側発信アンテナの電波により医療用電気機器の作動に影響を与えるおそれがあります。

- キーレスアクセス&プッシュスタート機能の作動あり/作動なしを設定することができます。設定方法は「キーレスアクセス&プッシュスタート機能の停止」を参照してください。また、スバル販売店でも設定変更することができます。詳しくはスバル販売店にご相談ください。

☆2-7ページ参照

**キーレスアクセス&プッシュスタートで使用している電波について**

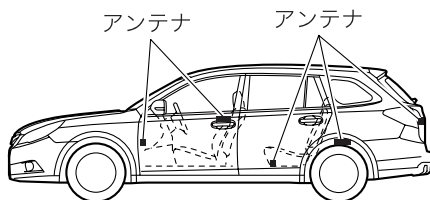
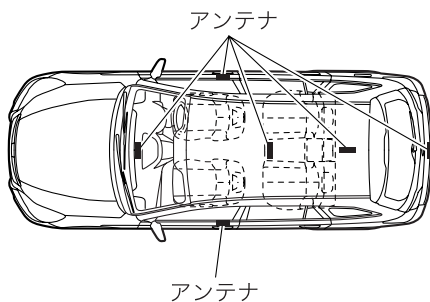
- キーレスアクセス&プッシュスタートでは、以下規則により定められた微弱電波を使用しております。
  - － 電波法施行規則第6条第1項第1号
- キーレスアクセス&プッシュスタート機能は、従来の電波式リモコンドアロック機能の電波に加え、下記周波数の電波※を使用しています。その電波は次のイラストの車両側アンテナから周期的に出力しています。

※電波周波数：134 kHz

次ページへ ⇒

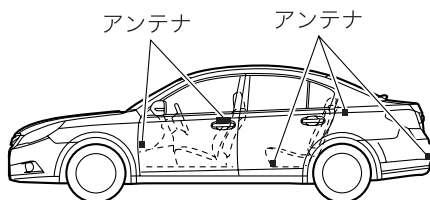
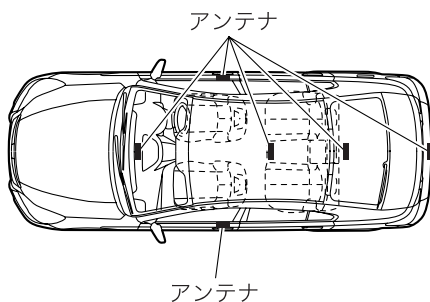
⇒前ページより

<ワゴン>




201750

<セダン>



201749


**注意**

キーレスアクセス & プッシュスタートシステムでは微弱な電波を使用しているため、次のようなアクセスキーの状態、周囲の状況によっては、アクセスキー・車両間の通信の妨げとなり、施錠・解錠およびエンジンの始動ができなくなることがあります。

- 近くに放送施設、送電線などの強い電波を発生する設備があるとき
- 他の車両のアクセスキーまたはリモコンキーなどの電波を発信するような製品を使用しているとき
- アクセスキーの近くに携帯電話などの無線通信機があるとき
- アクセスキーの電池が消耗しているとき
- アクセスキーを次のような製品と同時に携帯しているとき
  - －他の車両のアクセスキーまたはリモコンキー
  - －複数のアクセスキー
  - －パソコンや携帯情報端末（PDAなど）
  - －デジタルオーディオプレーヤー
  - －ポータブルゲーム機器
- アクセスキーが次のような金属製のものに接していたり、覆われたりしているとき
  - －アクセサリ
  - －アルミ箔などの金属の貼られたカード
  - －アルミ箔を使用したタバコの箱
  - －金属製の財布やカバン
  - －小銭
  - －カイロ
  - －CDやDVDなどのメディア

アクセスキーを車室内（例えば、インストルメントパネルの上、物入れ、シートの上など）、荷室内または車両周辺2 m以内（例えば、車庫での保管など）に絶対に放置・保管しないでください。

アクセスキーを車内に閉じ込めたり、電池が急激に消耗するおそれがあります。また、アクセスキーの位置によっては電源が切り替わらないことがあります。

- 長期間お車を使用しないとき、機能自体を使用しないとき、やむをえずアクセスキーを車室内や車の周辺に保管したいときは、キーレスアクセス & プッシュスタート機能を停止させることができます。設定方法は「キーレスアクセス & プッシュスタート機能の停止」を参照してください。また、スバル販売店でも設定変更することができます。詳しくはスバル販売店にご相談ください。

☆2-7ページ参照

次ページへ ⇒

⇒前ページより

- アクセスキーには電子部品が組み込まれています。故障を防ぐため、次のことをお守りください。
    - － アクセスキーの電池は、お客様ご自身で交換することができますが、交換の際に破損などのおそれがあるためスバル販売店でのご交換をお奨めします。
    - － 水にぬらさないでください。水にぬれた場合はすみやかに拭き取り、十分に乾かしてください。
    - － 強い衝撃を与えないでください。
    - － 磁気を帯びた物に近づけないでください。
    - － ダッシュボードの上など直射日光が当たったり高温になる場所には絶対に放置しないでください。電池の損傷や回路故障の原因になります。
    - － 超音波洗浄機などで洗浄しないでください。
    - － 湿気やホコリが多い場所に放置しないでください。アクセスキー故障の原因となります。
    - － パソコン、家電製品の近くに放置しないでください。アクセスキーが誤作動し、電池切れの原因となります。
  - アクセスキーは車両との通信のために、常時受信動作をし、常に電池を消耗しています。電池の寿命は使用状況によりますが、約1年～2年です。電池が切れた場合、新しい電池と交換してください。
- ☆7-19ページ参照
- アクセスキーを落下させた場合、内蔵されているメカニカルキーが外れることがあります。メカニカルキーの紛失にご注意ください。
- ☆8-65ページ参照
- 航空機内はアクセスキーなどの無線機器の使用が禁止されています。航空機内ではアクセスキーのボタンを押さないでください。



### アドバイス

- アクセスキーを紛失した場合は盗難などを防ぐため、アクセスキーの再登録をお奨めします。アクセスキーの再登録をするときはスバル販売店にご相談ください。
- アクセスキーはドアポケットやダッシュボードなどの車内の収納場所に放置しないでください。(振動による破損や勝手にスイッチが入って閉じ込める危険性があります)

## ■キーレスアクセス&プッシュスタート機能の停止

次の場合、キーレスアクセス&プッシュスタート機能を停止することができます。

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の機器を装着されている方
- 長期間お車を使用しないとき、または機能自体を使用しないとき

機能を停止するには、ドア開閉による方法またはアクセスキーによる方法があります。アクセスキーによる方法は、暗証コード式キーレスエントリーの暗証番号を登録してから使用できます。

☆2-14ページ参照

キーレスアクセス&プッシュスタート機能を停止させた場合でも、電波式リモコンドアロックは作動します。

### ⚠ 注意

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の機器を装着されている方は、必ずドア開閉による方法で機能停止または復帰させてください。アクセスキーによる方法は誤操作により機能が復帰する可能性があり、車両側発信アンテナの電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。

☆2-3ページ参照

### 🏠 アドバイス

- 設定はスバル販売店でもできます。詳しくはスバル販売店にご相談ください。
- 機能を停止させた場合、エンジンを始動するときは「アクセスキーが正常に作動しないとき」の方法を行ってください。

☆8-65ページ参照

## ●機能を停止させるとき

### ▼ドア開閉による方法

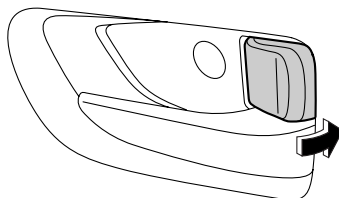
- ① 運転席に座りドアを閉めてください。
- ② 集中ドアロックスイッチの後ろ側（解錠側）を押してください。
- ③ ②の操作後、5秒以内に運転席ドアを開けてください。
- ④ ③の操作後、5秒以内にドアを開けたまま集中ドアロックスイッチの後ろ側（解錠側）を2回押してください。
- ⑤ ④の操作後、30秒以内に運転席ドアを「閉める→開ける」の操作を2回行ってください。
- ⑥ ⑤の操作後、30秒以内にドアを開けたまま集中ドアロックスイッチの後ろ側（解錠側）を2回押してください。
- ⑦ ⑥の操作後、30秒以内に運転席ドアを「閉める→開ける」の操作を1回行ってください。
- ⑧ ⑦の操作後、5秒以内にドアを閉めます。ブザー（ピー）が鳴り、機能を停止することができます。

### 🏠 アドバイス

上記の手順④および⑥では、集中ドアロックスイッチをゆっくり押してください。スイッチを押す間隔が短い場合、機能が停止しないときがあります。

#### ▼アクセスキーによる方法

- ① 運転席のドアを開け、ドアロックノブを後ろ側に引きます。



201205

- ② アクセスキーの🔒 ボタンおよび🚗 ボタンを同時に5秒以上押します。
- ③ ブザー（ピー）が鳴り、機能を停止することができます。

#### ●機能を復帰させるとき

選択した機能停止手順をもう一度行くと、機能を復帰させることができます。このときブザー（ピッ）が鳴ります。

### 🏠 アドバイス

どちらの機能停止方法を行ったか分からなくなった場合、プッシュエンジンスイッチを押してください。アクセスキーによる方法で機能を停止した場合、室内ブザー（ポーン）が鳴ります。ドア開閉による方法の場合、ブザーは鳴りません。

☆2-16ページ参照



## キーレスアクセスによる施錠・解錠

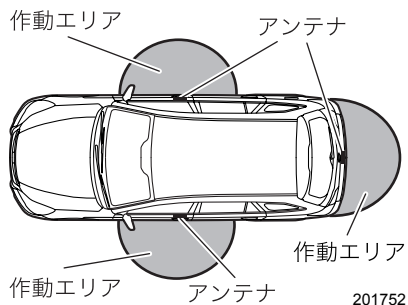
キーレスアクセスはアクセスキーを携帯することにより、全てのドアとリヤゲートの施錠および解錠、トランクの解錠が行えるシステムです。また、施錠・解錠については従来どおりの電波式リモコンドアロックもアクセスキーのボタン操作で行うことができます。

☆2-19ページ参照

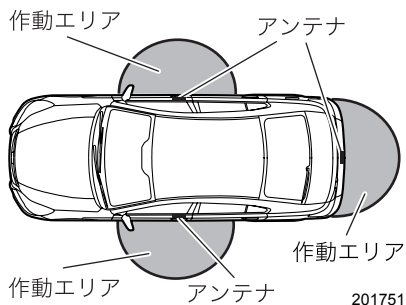
### ■作動エリア

- ドアおよびリヤゲートの施錠・解錠機能の作動エリアは、前席のドアハンドルとリヤゲートオープナースイッチを中心に約40～80 cmが目安となります。
- トランクの解錠機能の作動エリアは、トランクオープナースイッチを中心に約40～80 cmが目安となります。

#### <ワゴン>

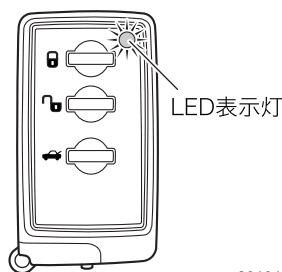


#### <セダン>



- ドアが施錠している状態で前席のドアハンドルの作動エリアに入ると、アクセスキーのLEDの表示灯が点滅します。キーレスアクセス機能を停止させた場合は、アクセスキーのボタンを押さないとLEDの表示灯は点滅しません。

☆2-7ページ参照



## アドバイス

- 電源をOFFにしてからドアの施錠操作を行ってください。電源がOFF以外では、リクエストスイッチまたはアクセスキーのボタン操作による施錠はできません。
- 施錠・解錠操作ができるのは、アクセスキーを検知している作動エリアのドアハンドルおよびリクエストスイッチのみになります。
- 誤作動防止のため、ドアまたはリヤゲートのリクエストスイッチによる施錠操作を行ったときは、約3秒間ドアハンドルまたはリヤゲートオープナースイッチによる解錠ができません。
- 操作が早すぎると施錠・解錠が完了していない場合があります。施錠後は、リヤのドアハンドルを操作して確認することをお奨めします。
- アクセスキーを車体に近づけ過ぎるとキーレスアクセス機能がうまく作動しない場合があります。作動しないときは少し離れて操作をやり直してください。
- アクセスキーを地面近くや地面から高い位置に置くと、図示した作動エリア内でもキーレスアクセス機能がうまく作動しない場合があります。
- アクセスキーが作動エリア内にあれば、アクセスキーを持たない方でもキーレスアクセス機能を操作できます。ただし、施錠・解錠操作ができるのは、アクセスキーを検知している作動エリアのドアハンドルおよびリクエストスイッチになります。
- アクセスキーの状態、周囲の電波状況によってキーレスアクセス機能が正常に作動しない可能性があります。このような場合、「アクセスキーが正常に作動しないとき」を参照してください。

### ☆8-65ページ参照

- アクセスキーが車内にある場合は施錠できません。但しアクセスキーの状態、周囲の状況によって施錠しアクセスキーを閉じ込める可能性があります。施錠する際はアクセスキーを持っていることを確認してください。
- アクセスキーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所（例：TV塔や発電所、放送局、無線機器使用場所など）、携帯電話通話中は、作動エリアが狭くなる場合や、作動しないことがあります。このような場合、「アクセスキーが正常に作動しないとき」の方法を行ってください。

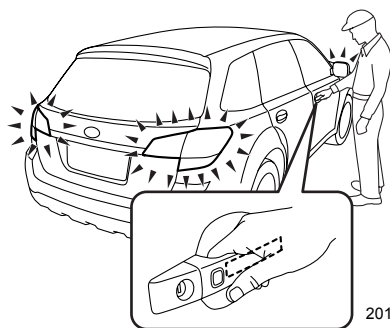
### ☆8-65ページ参照

- ドア(リヤゲート含む)が開いているときは施錠できません。全てのドアおよびリヤゲートを閉めてから、施錠操作を行ってください。
- アクセスキーが作動エリア内にある場合、洗車や大雨などでドアハンドルに大量の水がかかったときは、ドアが解錠することがあります。解錠された場合は、施錠してください。ただしドアの開閉操作がない場合は、約30秒後に自動施錠されます。

### ☆1-2、2-13ページ参照

## ■解錠

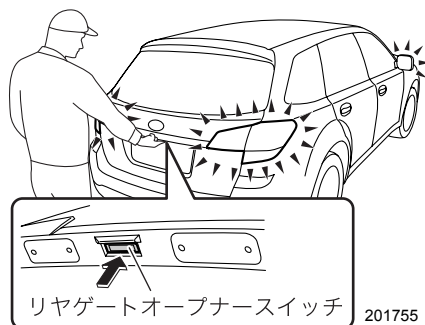
アクセスキーを携帯し、ドアハンドルを握ってください。全てのドア（リヤゲート含む）が解錠します。このときブザーが2回鳴り、同時に非常点滅灯（ハザードランプ）が2回点滅します。



201753

## ●リヤゲートからの解錠（ワゴン）

アクセスキーを携帯し、リヤゲート中央のリヤゲートオープナースイッチを押してください。リヤゲートと全てのドアが解錠し、リヤゲートが開きます。このときブザーが2回鳴り、同時に非常点滅灯（ハザードランプ）が2回点滅します。



リヤゲートオープナースイッチ

201755

## ●トランクの解錠（セダン）

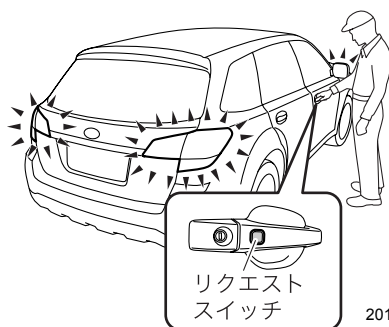
アクセスキーを携帯し、トランクオープナースイッチを押してください。トランクが解錠します。このときブザーが2回鳴り、同時に非常点滅灯（ハザードランプ）が2回点滅します。

トランクオープナー  
スイッチ

201754

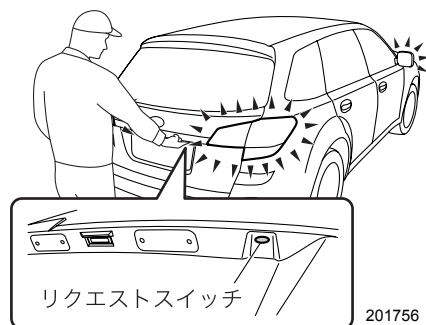
## ■施錠

アクセスキーを携帯し全てのドアを閉めてからドアハンドルのリクエストスイッチを押してください。全てのドア（リヤゲート含む）が施錠します。このときブザーが1回鳴り、同時に非常点滅灯（ハザードランプ）が1回点滅します。



## ●リヤゲートからの施錠（ワゴン）

アクセスキーを携帯し全てのドアを閉めてから、リヤゲートオープナー右端のリクエストスイッチを押してください。リヤゲートと全てのドアが施錠します。このときブザーが1回鳴り、同時に非常点滅灯（ハザードランプ）が1回点滅します。



## 🏠 アドバイス

- 誤作動防止のため、ドアまたはリヤゲートのリクエストスイッチによる施錠操作を行ったときは、約3秒間ドアハンドルまたはリヤゲートオープナースイッチによる解錠ができません。
- 半ドアで施錠操作を行った場合はブザーが5回鳴り、同時に非常点滅灯（ハザードランプ）が5回点滅し、いずれかのドア（リヤゲート含む）およびトランクが開いていることをお知らせします。

## ■その他の機能

### ●非常点滅灯（ハザードランプ）の点滅のカスタマイズ

解錠時や施錠時に点滅する非常点滅灯の設定を変更することができます。

☆1-2ページ参照

### ●ブザー吹鳴のカスタマイズ

解錠時や施錠時に鳴るブザーを消音にすることができます。


☆1-2ページ参照

## ●オフディレイ機能

ドアおよびリヤゲートが閉まっているとき、次の操作をすると室内ランプが一旦点灯し、徐々に消灯していきます。

- ルームランプ、スポットマップランプ（スイッチがDOOR位置の時）
  - － 解錠またはドア（リヤゲート除く）を開けて閉めたとき
  - － アクセスキーを携帯し車両に近づいたとき
- カーゴルームランプ（スイッチがDOOR位置の時）
  - － リヤゲートを開けて閉めたとき

点灯中次の操作をすると、室内ランプは消灯します。

- リクエストスイッチを押して施錠した場合
- アクセスキーの  ボタンを押して施錠した場合
- プッシュエンジンスイッチを押してAccまたはONにした場合

## ▼オフディレイ機能のカスタマイズ

次の室内ランプは、ドア運動の作動あり／作動なしの設定と点灯時間の設定を変更することができます。

- ルームランプ
- スポットマップランプ
- カーゴルームランプ（ワゴン）

☆1-2ページ参照

## ●自動施錠

解錠してから30秒以内にドアまたはリヤゲートを開けなかった場合は、自動的に施錠されます。自動施錠する約5秒前よりブザーでお知らせします。

このとき、盗難警報装置も作動します。

## ▼自動施錠のカスタマイズ

自動施錠の作動あり／作動なしの設定と施錠されるまでの時間の設定を変更することができます。

☆1-2ページ参照

## ●節電機能

アクセスキーの電池と車両のバッテリー保護のため、以下の場合キーレスアクセス & プッシュスタートを停止します。

- 全てのドア（リヤゲート含む）を施錠した状態で2週間以上キーレスアクセス&プッシュスタートおよび電波式リモコンドアロックを使用しない場合
- 全てのドア（リヤゲート含む）を施錠した状態で作動エリア内にアクセスキーを10分以上放置した場合

## ▼復帰方法

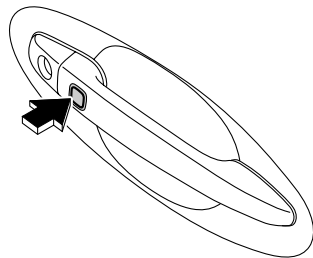
以下のいずれかを行うとキーレスアクセス&プッシュスタートは復帰します。

- ドア（リヤゲート含む）のリクエストスイッチを押して解錠する。
- 電波式リモコンドアロックで解錠または施錠する。
- メカニカルキーで解錠し、施錠する。

## ■暗証コード式キーレスエントリーによる解錠

運転席ドアが施錠されているとき、運転席のドアのリクエストスイッチを押すことによりキーを使わず、全てのドアを解錠することができます。

☆2-15ページ参照



201841



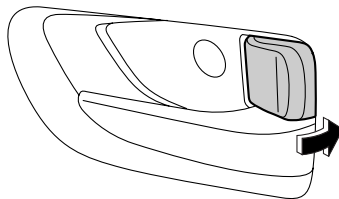
### アドバイス

暗証コード式キーレスエントリーはキーを室内に置き忘れたときなどに便利です。ぜひ5ケタの暗証番号（シークレットナンバー）を決めて記憶させておいてください。


## ●暗証番号の登録方法

### 【準備】

- ① 運転席ドアを解錠状態にします。
- ② 運転席ドアを開けます。
- ③ 運転席のドアロックノブを後ろ側に引きま  
す。



201205

- ④ 運転席ドアのリクエストスイッチを6秒間押し続けます。
- ⑤ ブザーが鳴り始めます。
- ⑥ ブザーが鳴っている最中にアクセスキーの  ボタンを押すとブザーが止まり準備完了です。（ブザーは30秒間鳴り続けます）

**【登録】**

登録例32468の場合

- ① 運転席ドアのリクエストスイッチを3回押して、ブザー（ピッ）が1回鳴るのを待ちます。
- ② リクエストスイッチを2回押して、ブザー（ピッ）が1回鳴るのを待ちます。
- ③ リクエストスイッチを4回押して、ブザー（ピッ）が1回鳴るのを待ちます。
- ④ リクエストスイッチを6回押して、ブザー（ピッ）が1回鳴るのを待ちます。
- ⑤ リクエストスイッチを8回押します。
- ⑥ ブザーが断続的に鳴り始めてから約30秒以内に再度手順①から⑤までの操作を行います。
- ⑦ ブザー（ピー）が約1秒間鳴ったら登録完了です。

**アドバイス**

- 登録操作を間違えた場合は、一度運転席ドアを閉めて登録をキャンセルしてください。その後【準備】の①から登録操作を始めてください。
- 盗難防止のため00000、11111、22222～99999、12345の登録はできません。  
また、車の登録番号や11122、12121などの簡単なものは避けてください。
- 0を登録するときは10回リクエストスイッチを押してください。
- 22222の登録操作をすると暗証番号が消去されます。以降新しい暗証番号を登録するまで暗証コードでの解錠はできなくなります。
- 新しい暗証番号を登録したら必ず解錠することを確認してください。
- 次の場合は、「暗証番号の登録方法」の手順で暗証番号を再登録してください。
  - － 暗証番号を忘れてしまった
  - － 暗証番号を変更したい

**●解錠方法**

登録の①～⑤と同じ方法でリクエストスイッチを押します。

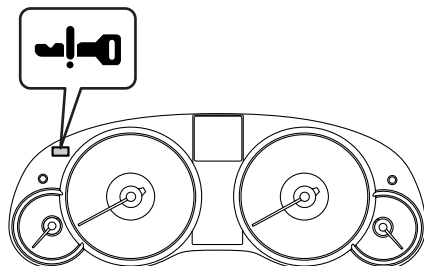
**アドバイス**

- 暗証コード式キーレスエントリーにより解錠する場合、アクセスキーが作動エリア内にあるときは解錠できません。この場合は、キーレスアクセスにより施錠動作を行います。
- ☆2-12ページ参照
- エンジンスイッチがAccまたはONの状態では、暗証コード式キーレスエントリーによる解錠はできません。
  - 解錠中に操作を間違えた場合は、5秒以上待つて最初からやり直してください。
  - 盗難対策として連続5回操作ミスをするるとブザーが鳴り5分間受け付けません。

## ■警告音および警告表示

キーレスアクセス & プッシュスタートでは誤操作や盗難を防止するため警告音や警告灯の点滅、またはエンジンスイッチ作動表示灯の点滅により警告します。

この場合は適切な処置を行ってください。




201760




## ●警告一覧表

室内ブザー 警報	室外ブザー 警報	メーター内 キー無し 警告灯表示	プッシュ エンジン スイッチ内 作動表示灯	状況	対処方法
ポーン、 ポーン、 ・・・ (断続吹鳴)	—	—	—	電源がAccのとき、運転席ドアを開けた。 (オートマチック車はセレクトレバーが[P]のとき)	運転席ドアを閉めてから電源をOFFにしてください。 ※車両から離れるときは必ず電源をOFFにしてください。
				運転席ドアが開いているとき、電源をOFFにした。	運転席ドアを閉めてください。



室内ブザー 警報	室外ブザー 警報	メーター内 キー無し 警告灯表示	プッシュ エンジン スイッチ内 作動表示灯	状況	対処方法
—	ピー (2秒間 吹鳴)	—	—	車内にアクセスキーが 放置されている状態で 全てのドアを施錠しよ うとした。	アクセスキーを車外に 持ち出した上でドアの 施錠操作を行ってくだ さい。 ※室内にアクセスキーが ある状態ではドアの施 錠操作はできません。 ※警告ブザーとともに全 ドアが解錠されます。
				全てのドアが施錠されて いる状態（もしくは自 動施錠のカウント中） で、トランクにアクセ スキーを放置したまま トランクを閉めた。 (セダンのみ)	トランクからアクセ スキーを取り出した上で トランクを閉めてくだ さい。 ※この警告ブザーが吹 鳴した後、トランク オープナースイッチ を押せばトランクを 解錠することができます。
				電源がOFFのとき、ア クセスキーが車内にあ る状態でリクエストス イッチを押した。	アクセスキーを車外に 持ち出した上でドアの 施錠操作を行ってくだ さい。 ※室内にアクセスキーが ある状態ではドアの施 錠操作はできません。
—	ピピピピピ ピピピ (5回吹鳴)	—	—	電源がOFFのとき、い ずれかのドア（リヤ ゲート含む）が開いて いる状態で、リクエスト スイッチを押した。	ドアを確実に閉めて施錠 操作を行ってください。 ※いずれかのドア（リ ヤゲート含む）が開 いている状態では施 錠できません。
—	ピー—— (最長 60秒間 吹鳴)	—	—	電源がOFF以外のと き、アクセスキーを携 帯した状態でリクエスト スイッチを押した。 (オートマチック車は セレクタレバーがPの とき)	アクセスキーを車内に 戻すか、電源をOFFし てください。 ※電源をOFFにしない とドアの施錠操作は できません。
ポーン	—		—	車内にアクセスキーが ない状態で走行した。	アクセスキーを携帯し て走行してください。



運転する前に

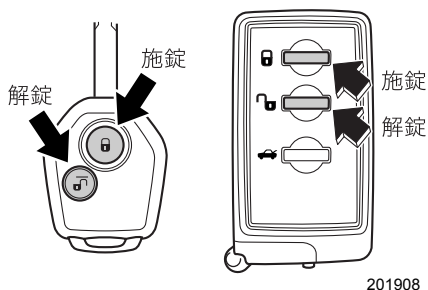
室内ブザー 警報	室外ブザー 警報	メーター内 キー無し 警告灯表示	プッシュ エンジン スイッチ内 作動表示灯	状況	対処方法
ポーン	ピッピッピッ (3回吹鳴)		—	電源がOFF以外 のとき、アクセ スキーを携帯 した状態で車 外に出て運転 席ドアを閉め た。(オートマ チック車はセ レクトレバー が[P]のとき)	電源をOFFに した上で車外 に出てください。
ポーン	ピッピッピッ (3回吹鳴)		—	電源がOFF以外 で同乗者がア クセスキーを 車外に持ち出 し、運転席以 外のドアを閉 めた。	アクセスキー を車内に戻す か、電源をOFF してください。
ピー—— (連続吹鳴)	ピー—— (連続吹鳴)		—	電源がOFF以外 でセレクトレバ ーが[P]以外 のとき、アクセ スキーを携帯 した状態で車 外に出て運転 席のドアを閉 めた。	セレクトレバ ーを[P]にし 、電源をOFF にした上で車 外に出してく ださい。 ※電源がON でセレクトレ バーが[R]の ときは、[R] のブザーが優 先されます。
ピー—— (連続吹鳴)	—	—	—	電源がOFF以外 でセレクトレバ ーが[P]以外 のとき、運転 席ドアを開け た。	セレクトレバ ーを[P]にし 、電源をOFF にした上で車 外に出してく ださい。

## 電波式リモコンドアロックによる施錠・解錠

アクセスキーまたはリモコンキーのボタンを押すと電波により、車から離れたところから全てのドア（リヤゲート含む）の施錠・解錠ができます。トランクは解錠のみできます。


### ■解錠

車のまわりからアクセスキーの  ボタンまたはリモコンキーの  ボタンを押すと全てのドア（リヤゲート含む）が解錠します。このときブザーが2回鳴り、同時に非常点滅灯（ハザードランプ）が2回点滅します。




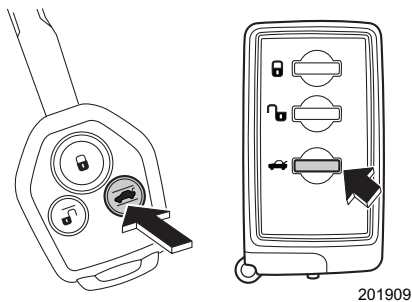
運転する前に

### ■施錠


車のまわりからアクセスキーまたはリモコンキーの  ボタンを押すと全てのドア（リヤゲート含む）が施錠します。このときブザーが1回鳴り、同時に非常点滅灯（ハザードランプ）が1回点滅します。

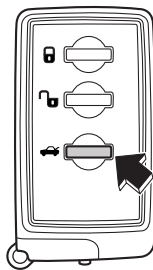
### ■トランクの解錠（セダン）

車のまわりから  ボタンを約 1.5 秒以上押すとトランクが開きます。このときブザーが2回鳴り、同時に非常点滅灯（ハザードランプ）が2回点滅します。



## ■ リヤゲートの解錠(キーレスアクセス&プッシュスタート装着車のワゴン)

車のまわりから  ボタンを押すとリヤゲートが解錠します。このときブザーが2回鳴り、同時に非常点滅灯(ハザードランプ)が2回点滅します。



201910

### アドバイス

- 車から離れるときは、リヤのドアハンドルを引き、半ドアになっていないことを確認してください。
  - 作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられますので早めに電池を交換してください。
- ☆7-17ページ参照
- 半ドアで施錠操作を行った場合はブザーが5回鳴り、同時に非常点滅灯(ハザードランプ)が5回点滅し、いずれかのドア(リヤゲート含む)およびトランクが開いていることをお知らせします。

## ■ その他の機能

### ● 非常点滅灯(ハザードランプ)の点滅のカスタマイズ

解錠時や施錠時に点滅する非常点滅灯の設定を変更することができます。

☆1-2ページ参照

### ● ブザー吹鳴のカスタマイズ

解錠時や施錠時に鳴るブザーを消音にすることができます。


☆1-2ページ参照

### ● オフディレイ機能

ドアおよびリヤゲートが閉まっているとき、次の操作をすると室内ランプが一旦点灯し、徐々に消灯していきます。

- ルームランプ、スポットマップランプ(スイッチがDOOR位置の時)
  - ー 解錠またはドア(リヤゲート除く)を開けて閉めたとき
  - ー アクセスキーを携帯し車両に近づいたとき(キーレスアクセス装着車)
- カーゴルームランプ(スイッチがDOOR位置の時)
  - ー リヤゲートを開けて閉めたとき

点灯中次の操作をすると、室内ランプは消灯します。

- リクエストスイッチを押して施錠した場合
- アクセスキーまたはリモコンキーの  ボタンを押して施錠した場合
- プッシュエンジンスイッチを押してAccまたはONにした場合(プッシュエンジン装着車)
- エンジンスイッチをAccまたはONにした場合(プッシュエンジン装着車以外)

## ▼オフディレイ機能のカスタマイズ

次の室内ランプは、ドア運動の作動あり／作動なしの設定と点灯時間の設定を変更することができます。

- ルームランプ
- スポットマップランプ
- カーゴルームランプ（ワゴン）

☆1-2ページ参照

## ●自動施錠

解錠してから30秒以内にドアまたはリヤゲートを開けなかった場合は、自動的に施錠されます。自動施錠する約5秒前よりブザーでお知らせします。

このとき、盗難警報装置も作動します。

## ▼自動施錠のカスタマイズ

自動施錠の作動あり／作動なしの設定と施錠されるまでの時間の設定を変更することができます。

☆1-2ページ参照

### 注意

- 航空機内はアクセスキーまたはリモコンキーなどの無線機器の使用が禁止されています。航空機内ではキーのボタンを押さないでください。
- キーには電子部品が組み込まれています。故障を防ぐため、次のことをお守りください。
  - －ダッシュボードの上など直射日光が当たったり高温になる場所には絶対に放置しないでください。電池の損傷や回路故障の原因になります。
  - －強い衝撃を与えないでください。
  - －電池交換時以外は分解しないでください。電池交換の際は電池のショートおよび⊕、⊖の方向に注意してください。
  - －水にぬらさないでください。水にぬれた場合はすみやかに拭き取り、十分に乾かしてください。

### アドバイス

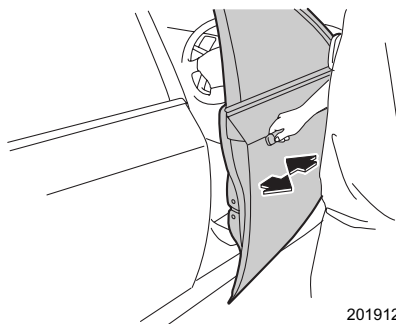
- 電波式リモコンドアロックは車の周囲約1m以内で作動しますが、周囲に強い電波やノイズがある場合（例：TV塔や発電所、放送局、無線機器使用場所など）は、作動距離が変わることがあります。
- 車を離れるときは、リヤのドアハンドルを引いて施錠を確認してください。
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているとき、ドアまたはリヤゲートが開いているときや半ドアの場合、作動しません。

## ドア

### ■ ドアの開閉

ドアを開けるときは、ドアハンドルを手前に引きます。

ドアを閉めるときは、確実に閉め、半ドアになっていないことを確認してください。



201912

#### ⚠ 注意

- ドアを開けるときは周囲の安全を十分に確認してください。不用意に開けると後続車、自転車、オートバイなどにぶつかることがあります危険です。
- ドアは確実に閉めてください。半ドアでは開くことがあります危険です。
- ドアを閉めるときは、手や指などを挟まないようにご注意ください。

#### 🏠 アドバイス

- ドアハンドルを操作するときには、爪などを挟まないよう気をつけてください。
- 車から離れる場合はエンジンを止め、キーを持っていることを必ず確認してからドアを施錠してください。
- 施錠しても車内に貴重品などを置かないようにしてください。
- プッシュエンジンスイッチをAcc（キーレスアクセス&プッシュスタート装着車）またはキーをエンジンスイッチに差し込んだまま（キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外）運転席ドアを開けると、ブザーが鳴ります。ただし、エンジンスイッチがONのときは鳴りません。

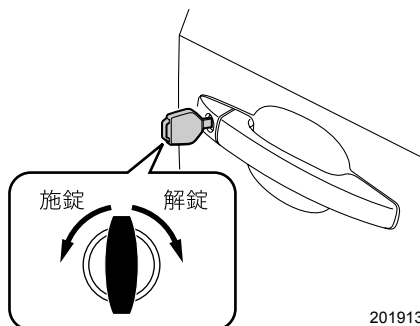
☆2-25、3-7ページ参照

- 乗車中の施錠、解錠については次のような特徴がありますので、状況に合わせて選択してください。
  - － 施錠している場合は、お子さまなどの同乗者が誤ってドアを開けることを防いだり、停車時に車外からの不意の侵入者を防ぎます。また、シートベルトの着用と併せ、事故時に車外に投げ出される可能性が少なくなります。
  - － 解錠している場合は、万一の事故のとき車外からの救援活動が受けやすくなります。

## ■車外からキーによる施錠・解錠

### ●ドア

キーを確実に差し込んで車の後ろ側に回すと施錠され、前側に回すと解錠されます。



201913



### アドバイス

- 車外から施錠・解錠できるのは運転席ドアおよびトランク（セダン）だけです。その他のドアはドアロックノブまたは集中ドアロックスイッチで施錠・解錠してください。
- 盗難警報装置を作動させた状態でキーによる解錠を行った場合、盗難警報装置は解除されません。ドアを開けた場合、警報が作動します。
- キーによる施錠では、盗難警報装置は作動しません。

☆2-26ページ参照

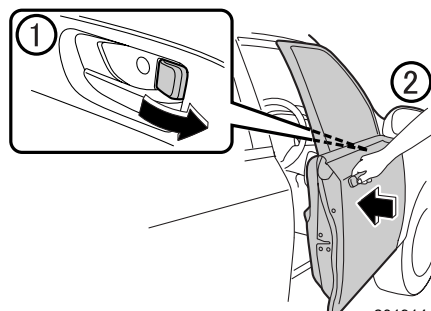
- キーレスアクセス&プッシュスタート装着車は、メカニカルキーをご使用ください。

☆8-65ページ参照

## ■キーを使わない車外からの施錠

### ●フロントドア

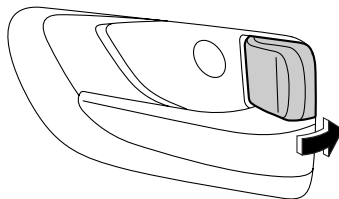
- ① ドアロックノブを後ろ側に引きます。
- ② ドアハンドルを引いたままドアを閉めます。



201914

## ●リヤドア

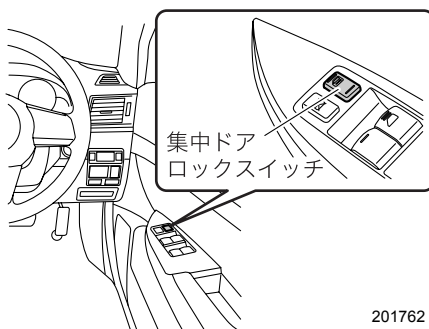
ドアロックノブを後ろ側に引いてドアを閉めます。



201205

## ■車内から集中ドアロックによる施錠・解錠

運転席ドアの集中ドアロックスイッチを前側（☒側）に押しと全てのドア（リヤゲート含む）が施錠されます。後ろ側に押しと全てのドア（リヤゲート含む）が解錠されます。



201762



### 注意

ドアロックノブで運転席ドアを施錠または解錠しただけでは、集中ドアロックは作動しません。必ず集中ドアロックスイッチで施錠または解錠してください。

## ●キー閉じ込み防止機能

ドアを施錠しないように働き、キーを車内に残したままになることを防止する機能です。この機能は、以下の状態のときに作動します。

- キーレスアクセス&プッシュスタート装着車はエンジンスイッチがAccまたはONのとき
- キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外はエンジンスイッチにキーが差し込んであるとき

## ▼キー閉じ込み防止機能が作動するとき

運転席ドアを開けた状態で、集中ドアロックスイッチを前側（☒側）に押したとき



## ▼キー閉じ込み防止機能が作動しないとき

- ドアロックノブで施錠しドアを閉めたとき
- 車外から合いかぎを使い施錠したとき

## ▼キー閉じ込み防止機能のカスタマイズ

キー閉じ込み防止機能の作動あり／作動なしの設定を変更することができます。

☆1-2ページ参照

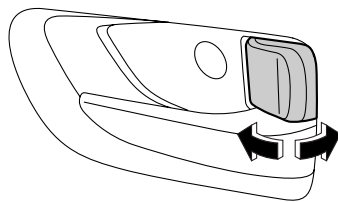


## アドバイス

車外に出るときには、必ずキーを持っていることを確認して施錠してください。

## ■車内からドアロックノブによる施錠・解錠

ドアロックノブを後ろ側に引くと施錠され、前側に押すと解錠します。(施錠されると赤マークが見えなくなります)



201207

## ■キー抜き忘れ警報

キーの抜き忘れを防止するための装置です。プッシュエンジンスイッチを Acc (キーレスアクセス & プッシュスタート装着車) またはキーをエンジンスイッチに差し込んだまま (キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外) 運転席ドアを開けるとブザーが鳴ります。



## アドバイス

エンジンスイッチがONのときは鳴りません。

## ■バッテリー上がり防止機能

半ドアなどで次のランプが点灯し続けた場合、バッテリー上がりを防止するため、約20分後に自動的に消灯します。

- ルームランプ (ドア連動時)
- スポットマップランプ (ドア連動時)
- カーゴルームランプ (ワゴン: ドア連動時)
- トランクルームランプ (セダン)
- エンジンキー照明 (イグニッションキー照明)

## ●バッテリー上がり防止機能のカスタマイズ

バッテリー上がり防止機能の作動あり/作動なしの設定を変更することができます。

☆1-2ページ参照



### アドバイス

- 車から離れるときは、必ずドアが確実に閉まっているかを確認してください。
- キーレスアクセス&プッシュスタート装着車はエンジンスイッチがAccまたはONのとき作動しません。
- キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外はエンジンスイッチにキーが差し込んでであると作動しません。

## 盗難警報装置

キーレスエントリー（キーレスアクセス機能、電波式リモコンドアロック、暗証コード式キーレスエントリー）以外でドア（リヤゲート含む）またはトランクが開けられたとき、または車両が衝撃を受けたとき（ディーラーオプションの衝撃センサー装着車のみ）以下の警報で周囲に異常を知らせます。

- 30秒間、車両ホーンが鳴り、非常点滅灯（ハザードランプ）が点滅します。

☆2-11、2-14、2-19ページ参照

この機能の初期設定は作動なしとなっております。この機能を使用する場合、警報の設定を作動ありに設定してください。

☆2-29ページ参照



### 注意

盗難警報装置は特定条件で作動し警報などで周囲に知らせる装置であり、盗難を防止するものではありません。

車から離れるときは、車内に金品、貴金属などを置かないでください。





### アドバイス

- 30秒間鳴り続けた後も、ドアが開いたままになっている場合、最長3分間、警報が鳴り続けます。また、ドアを閉めると最長30秒後には警報は止まります。
- 一旦、盗難警報装置を監視状態にすると、キーレスエントリー（キーレスアクセス機能、電波式リモコンドアロック、暗証コード式キーレスエントリー）以外では解除できません。

## ■盗難警報装置を監視状態（警報が作動する状態）にするには

全てのドア（リヤゲート含む）およびトランクを閉めます。以下の操作で施錠すると約30秒の待機時間（監視を行なわない状態）の後、監視状態に入ります。


- リクエストスイッチを押す
- アクセスキーまたはリモコンキーの  ボタンを押す

監視状態に入るとメーター内のセキュリティ表示灯  が2回連続の点滅を繰り返します。この方法以外（キーによる施錠、車内からキーを使わず施錠）では盗難警報装置は監視状態に入りません。


☆2-23ページ参照

## ●セダンの機能

トランクを開けたままで、以下の操作で施錠した場合は、監視状態にはなりません。

- ドアハンドルのリクエストスイッチを押す
- アクセスキーまたはリモコンキーの  ボタンを押す

トランクを閉めてから約30秒待機状態の後、監視状態に入ります。

また、盗難警報装置を作動させた状態で、リクエストスイッチやアクセスキーまたはリモコンキーの  ボタンでトランクを開けた場合、監視状態から待機状態へ切り替わります。トランクを閉めると約30秒待機状態の後、監視状態へ戻ります。



### アドバイス

- 待機状態中は、セキュリティ表示灯がすばやく点滅します。
- 30秒の待機状態中に次のことを行った場合、監視状態には移りません。
  - － キーレスエントリーでドアを解錠したとき
  - － いずれかのドア（リヤゲートも含む）を開けたとき
  - － アクセスキーを携帯しブッシュエンジンスイッチを押してAccにしたとき（ブッシュスタート装着車）
  - － エンジンスイッチをONにしたとき（ブッシュスタート装着車以外）
- 30秒の待機状態の時間を待機時間なしに設定変更ができます。


☆1-2ページ参照



- 自動施錠の機能が作動した場合にも盗難警報装置が監視状態に移ります。

☆2-13ページ参照

- 監視状態のままバッテリーが上がったときは、キーレスエントリーでは解錠できません。このときキーまたはメカニカルキーを使用して解錠してください。ただしバッテリーを充電、もしくは新品に交換した際に監視状態で復帰しますので、ドアを開けたままにしておいたり、そのままドアを開けると警報が作動します。
- キーレスアクセス機能や電波式リモコンドアロックによる施錠や自動施錠時、ドアを施錠動作の直前で開くと警報が鳴り始める場合があります。

## ■盗難警報装置の監視状態を解除するには

以下の操作で解錠すると監視状態が解除されます。解除されるとメーター内のセキュリティ表示灯はゆっくり点滅（イモビライザー装備車）または消灯（イモビライザー装備車以外）します。

- アクセスキーのボタンを押す、またはドアハンドルを握る（キーレスアクセス&プッシュスタート装着車）
- リモコンキーのボタンを押す（キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外）
- 暗証コード式キーレスエントリーによる解錠操作をする（キーレスアクセス&プッシュスタート装着車）

☆2-14ページ参照

### アドバイス

ドアのキーシリンダーにキーまたはメカニカルキーを差し解錠、もしくは車内からキーを使わず解錠した場合、盗難警報装置は解除されません。そのままドアを開けてしまうと警報が作動します。

☆2-23ページ参照

## ■警報を作動させてしまったときには

解除方法として以下のいずれかの操作をすると解除できます。

### ●キーレスアクセス&プッシュスタート装着車

- アクセスキーのいずれかのボタンを押す
- アクセスキーを携帯しリクエストスイッチを押す
- アクセスキーを携帯しプッシュエンジンスイッチを押してAccにする

### アドバイス

アクセスキーの電池残量が少なくなった場合は、アクセスキーをプッシュエンジンスイッチに近づけてAccにしてください。

☆8-66、8-67ページ参照

### ●キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外

- リモコンキーのいずれかのボタンを押す
- エンジンスイッチにキーを差し込み、エンジンスイッチをONにする

## ■警報の設定

盗難警報装置は作動あり、作動なしの設定に切り替えることができます。  
以下の方法で切り替えることができます。

### ●キーレスアクセス&プッシュスタート装着車

- ① 盗難警報装置の監視状態を解除してください。  
☆2-28ページ参照
- ② 運転席に座り、全てのドア（リヤゲート含む）およびトランクが閉まっていることを確認してください。
- ③ プッシュエンジンスイッチを押してONにしてください。
- ④ 運転席ドアを開けると同時に集中ドアロックスイッチを後ろ側（解錠側）に押し、10秒間保持してください。
- ⑤ ホーンが鳴り設定が切り替わります。  
新しい設定がオドメーター/トリップメーターに表示されます。  
作動なし：ホーンが2回鳴ります。  
メーター表示  
オドメーター/トリップメーター [AL OF]  
作動あり：ホーンが1回鳴ります。  
メーター表示  
オドメーター/トリップメーター [AL ON]


### ●キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外

- ① 盗難警報装置の監視状態を解除してください。  
☆2-28ページ参照
- ② 運転席に座り、全てのドア（リヤゲート含む）およびトランクが閉まっていることを確認してください。
- ③ 10秒以内にエンジンスイッチをOFF→ONを3回繰り返し、ONで止めてください。
- ④ ③の後、10秒以内に運転席ドアを一旦開けて、ドアを閉めてください。  
現在の設定がオドメーター/トリップメーターに表示されます。
- ⑤ ④の後、10秒以内に集中ドアロックスイッチを下記のように3回操作してください。  
新しい設定に切り変わるとブザーが鳴り、新しい設定がオドメーター/トリップメーターに表示されます。  
作動なし：集中ドアロックスイッチをアンロック側（後ろ側）に3回操作してください。  
メーター表示  
オドメーター/トリップメーター [AL OF]  
作動あり：集中ドアロックスイッチをロック側（前側）に3回操作してください。  
メーター表示  
オドメーター/トリップメーター [AL ON]

### アドバイス

この設定は、スバル販売店でもできます。  
☆1-2ページ参照

## ■警報の作動履歴

メーター内のセキュリティ表示灯が点滅して、警報が作動したことを運転者に知らせます。警報が作動した原因により点滅の回数が変わります。

- エンジンスイッチをONにしたとき1秒間点灯した後に、以下の点滅で運転者に知らせます。  
ドア（リヤゲート含む）が開けられた場合：5回  
トランクが開けられた場合：4回  
強い衝撃を受けたときまたは、衝撃を何回も受けたとき：2回  
（ディーラーオプションの衝撃センサー装着車のみ）  
弱い衝撃を受けたとき：1回  
（ディーラーオプションの衝撃センサー装着車のみ）

☆3-43ページ参照



### アドバイス

警報の作動履歴は、盗難警報装置を再度監視状態にすると消去されます。

## ■ルームランプ点灯

ルームランプのスイッチがDOOR位置にあるとき、警報が作動するとルームランプが点灯します。

この機能の初期設定は作動なしとなっております。この機能を使用する場合、ルームランプの設定を作動ありに設定してください。

☆1-2ページ参照

## ●ルームランプ点灯のカスタマイズ

スバル販売店でルームランプ点灯を作動あり／作動なしに設定することができます。

☆1-2ページ参照

## ■衝撃センサー（ディーラーオプション）

ディーラーオプションの衝撃センサーが装着されている場合は、車両に衝撃が加えられたときに警報が作動します。

また、センサーの配線が切断した場合にも警報が作動します。

軽い衝撃を受けたときは、短時間のホーンと非常点滅灯（ハザードランプ）の点滅による警告、強い衝撃、または衝撃を何回も受けたときは約30秒間のホーン音と非常点滅灯（ハザードランプ）の点滅による警報が作動します。

### アドバイス

- 衝撃センサーは必ずしも全ての破壊行為に対して検知できるものではありません。また、振動が加わらないような破壊行為の場合（脱出用工具によるガラス破壊など）は、本センサーでは検知できません。
- また、下記などの振動が車両に加わった場合、警報が鳴る可能性がありますので駐車する場所に依りて警報、衝撃センサーの設定を行ってください。
  - 例) 工事現場からの振動
    - 立体駐車場の振動
    - 電車通過による振動
    - フェリー乗船中の駐車時の振動
    - など
- 衝撃センサーの取り付け取り外しは、特殊な設定が必要になります。スバル販売店にお申し付けください。
- 衝撃センサーをスバル販売店以外で取り外した場合、センサーの配線が切断されたと判断し、警報が作動します。取り外しはスバル販売店にお申し付けください。
- スバル純正リモコンエンジンスターターでエンジンをかけている間は衝撃センサーの機能は停止します。

## ●衝撃センサーの設定

スバル販売店で作動あり／作動なし、および感度の設定ができます。

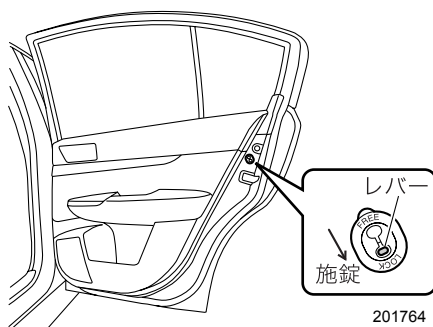
☆1-2ページ参照

## チャイルドブローフ

左右のリヤドアにあります。後席にお子さまを乗せたときにご使用ください。

### ■使いかた

チャイルドブローフのレバーを「LOCK」側に動かしてドアを閉めると、車内のドアハンドルではリヤドアを開けられなくなります。解除するときはレバーを「FREE」側に動かしてください。



### ■チャイルドブローフが働いているときのドアの開けかた

ドアを解錠し、車外からドアハンドルを引いて開けます。  
車内から開けるときは、ドアロックノブを解錠にし、ウィンドウを下げ車外のドアハンドルを引いて開けます。



## パワーウィンドウ

パワーウィンドウは、エンジンスイッチがONのとき使用できます。

### 警告

- パワーウィンドウが開まる時には大きな力が働きます。挟まれると危険ですので閉める前に窓から顔や手を出していないことを確認してください。
- 挟まれると危険ですので小さなお子さまには操作させないでください。
- お子さまを乗せるときにはロックスイッチをロックしておいてください。お子さまがウィンドウスイッチをいたずらして手や首を挟むことを防止します。

☆2-35ページ参照

### 注意

- ウィンドウの全閉、全開後に同じ方向にスイッチを押し続けしないでください。パワーウィンドウの故障の原因になります。
- 車両から離れる場合は、必ずお子さまも一緒にお連れください。お子さまのいたずらなどによる誤操作で、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### アドバイス

次の操作を行うとパワーウィンドウのブレーカーが作動してウィンドウの開閉ができなくなることがあります。

- 運転席ウィンドウを全閉または全開にした後、スイッチを同じ方向へ数秒間操作し続ける。
- 3席以上のウィンドウを全閉または全開にした後、それぞれのスイッチを同時に同じ方向へ操作し続ける。

この場合、ブレーカー復帰後に必ずパワーウィンドウの初期設定を行ってください。初期設定がされていないと、運転席ウィンドウの自動全開（全閉）およびウィンドウ反転機能は作動しません。

☆2-36ページ参照

## ■スイッチの操作

### ●運転席ウィンドウの開閉操作方法

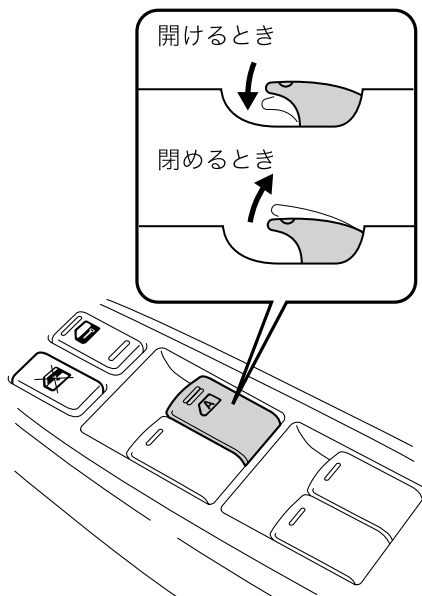
スイッチを軽く操作している間、作動します。  
強く操作すると、自動で全開（全閉）します。

開けるとき：

- スwitchを軽く押します。押している間ウィンドウが下降します。
- スwitchを強く押すと自動で全開になります。途中でウィンドウの下降を停止させるときは、スswitchを軽く引き上げます。

閉めるとき：

- スwitchを軽く引き上げます。引き上げている間ウィンドウが上昇します。
- スwitchを強く引き上げると自動で全閉になります。途中でウィンドウの上昇を停止させるときは、スswitchを軽く押します。



201161

### 🏠 アドバイス

バッテリー交換やヒューズ交換などで、バッテリーとの接続が断られたときは、必ずパワーウィンドウの初期設定をしてください。  
初期設定がされないと運転席ウィンドウは自動で全開（全閉）しません。  
☆2-36ページ参照

### ●オフディレイ機能（キー OFF後の作動）

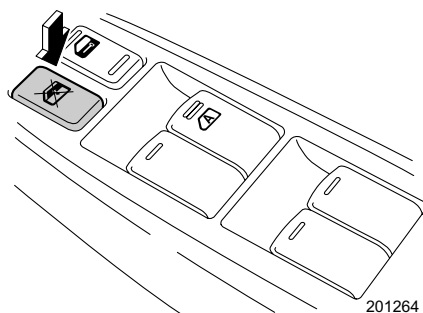
運転席のウィンドウはエンジンスwitchをONからAccまたはLOCK (OFF) にした後でも、約30秒間は昇降することができます。ただし、その約30秒の間に運転席のドアを開けて閉めると、ウィンドウの昇降はできなくなります。

### 🏠 アドバイス

昇降ができる状態のときは、スswitchの照明が点灯しています。

## ●ロックスイッチの操作方法

ロックスイッチを押すと助手席と後席のウィンドウは開閉できなくなります。(ロック状態)

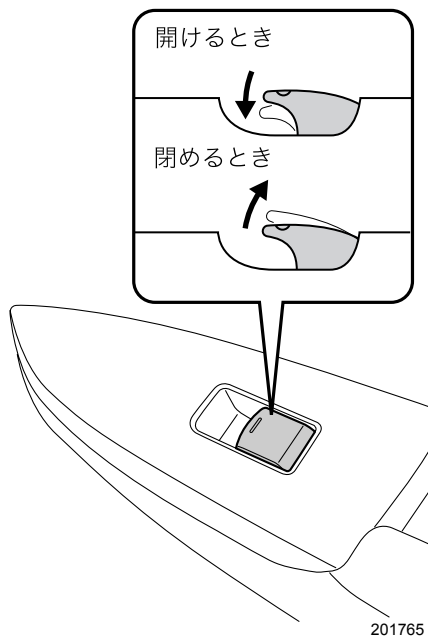


## ●助手席、後席ウィンドウの操作方法

それぞれのウィンドウを開閉します。スイッチを操作している間作動します。

開けるとき：スイッチを押します。

閉めるとき：スイッチを引き上げます。



## ■ ウインドウ反転機能

運転席のウインドウが自動全閉中、窓枠とウインドウとの間に異物の挟み込みを感知すると、ウインドウの上昇が停止し、自動で少し下降し止まります。

### 注意

ウインドウを確実に閉めるため、閉めきる直前の部分では、挟み込みを感知しない領域があります。指など挟まないようにしてください。

### アドバイス

- 環境、走行条件により異物を挟んだときと同じ衝撃がウインドウに加わるとウインドウ反転機能が作動することがあります。
- ウインドウ反転機能が作動した後、数秒間はスイッチを操作してもウインドウの操作をすることができません。
- バッテリー交換やヒューズ交換などで、バッテリーとの接続が断たれたときは、必ずパワーウインドウの初期設定をしてください。初期設定がされないと、ウインドウ反転機能が作動しません。

## ■ パワーウインドウの初期設定

バッテリー交換やヒューズ交換などで、バッテリーとの接続が断たれたときは、必ずパワーウインドウの初期設定を行ってください。パワーウインドウの初期設定がされていないと、次の機能は作動しません。

- 運転席ウインドウの自動全開（全閉）

☆2-34ページ参照

- ウインドウ反転機能

### ● 初期設定のしかた

- ① ドアを閉め、エンジンスイッチをONにします。
- ② 運転席ウインドウスイッチを下に押し、半分くらいまでウインドウを開けます。
- ③ 運転席ウインドウスイッチを上を引き続け、ウインドウを全閉にします。全閉後、約1秒間スイッチを上を引き続けてください。

## フューエルリッド（燃料補給口）

メーターの燃料計にフューエルリッド（燃料補給口）が右側にあることをお知らせする表示があります。

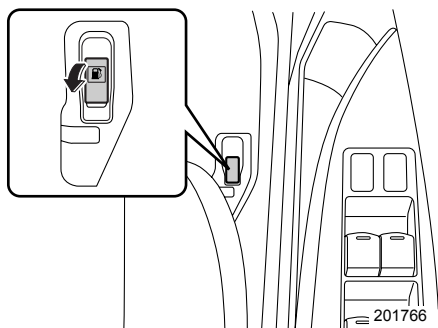


300826

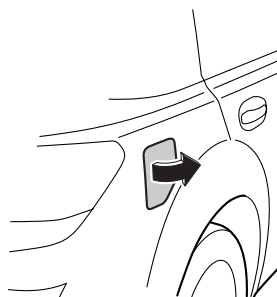
	使用燃料	タンク容量
ターボ車	無鉛プレミアム（無鉛ハイオク）ガソリン	約65ℓ
ターボ車以外	無鉛レギュラーガソリン	

### ■フューエルリッドの開閉

開けるときは、運転席右下にあるフューエルリッドオープナーレバーを上げます。



201766

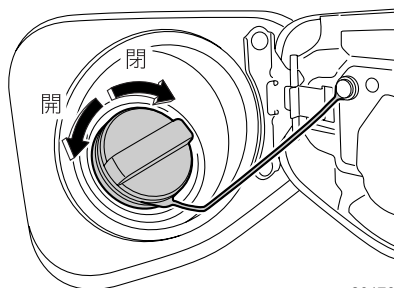


201767

閉めるときは、ロックするまでフューエルリッド（燃料補給口）を手で押し付けてください。

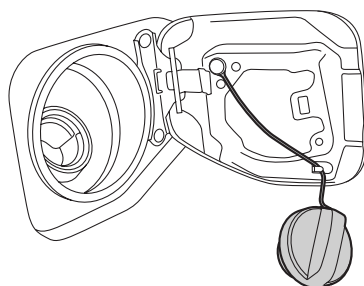
## ■フューエルキャップの開閉

フューエルキャップを左に回して開けます。燃料補給後は、「カチッ」と音がするまで右に回して閉めます。



201768

フューエルキャップを外したときは、キャップについているコードをフューエルリッド内側のフックにかけます。



201769

### 警告

燃料補給時には必ず次のことをお守りください。

- ガソリンは非常に引火しやすいため、燃料補給時はタバコなど一切の火気は厳禁です。
- エンジンは必ず止めてください。
- フューエルキャップを開けるときはゆっくり回し、燃料タンク内の圧力を下げてから外してください。急に開けると燃料が補給口から吹き返すおそれがあります。
- フューエルキャップは確実に閉めてください。閉まっていないと走行中に燃料が漏れて火災につながるおそれがあります。
- 静電気除去キャップを採用していますので、フューエルキャップは車に合ったスバル純正品を使用してください。

☆1-27ページ参照

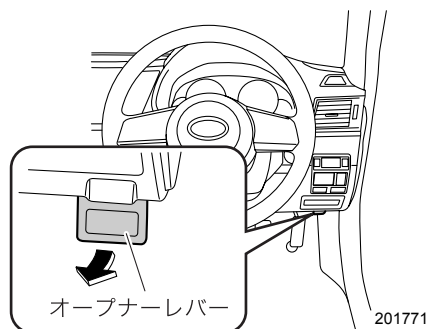
### 注意

セルフ給油のときの燃料補給は、給油ガンが自動停止した時点で止めてください。

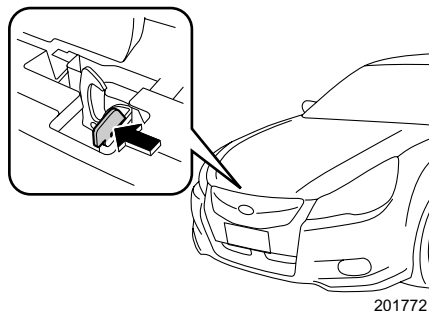
## ボンネット

### ■開けるとき

- ① ボンネットのオープナーレバーを引きます。  
運転席側のインストルメントパネル右下に  
あります。



- ② フロントグリルとボンネットのすき間から  
レバーを左に押し、ロックを外し、ボン  
ネットを持ち上げます。



### ■閉めるとき

ボンネットをゆっくり降ろし、ボンネットの先端を押しさえつけるように閉めます。  
確実にロックされていることを確認してください。

#### ⚠ 注意

ボンネットを開閉するときには次のことに注意してください。

- 走行後すぐに開けるときには、部品が熱くなっているため、やけどしないように注意してください。
- ボンネットを開けるときにはワイパーアームは起こさないでください。また、ワイパーを作動させないでください。ボンネットとワイパーアームが接触し、ボンネットまたはワイパーアームを傷つけるおそれがあります。

次ページへ ⇒

⇒前ページより

- ボンネットを閉めるときには指や他の物を挟まないよう充分注意してください。
- ボンネットを閉めるときにはボンネットを上から強く押し付けしないでください。ボンネットがへこむことがあります。
- 必ず走行前にボンネットが確実にロックされていることを確認してください。

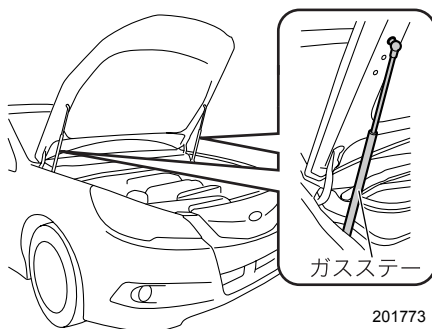
確実にロックされていないまま走行すると、走行中開くことがあり非常に危険です。

- ボンネットにはボンネットを支えるためのガスステーが取り付けられています。ガスステーの損傷や作動不良を防ぐため次のことをお願いします。

ー ガスステー部分にうすいビニール袋、テープなどが噛み込まないように注意してください。また、点検や清掃のときにステー部分に傷をつけないように注意してください。ステーのガス抜けにより、ボンネットが自然に閉じてしまう場合があります。

ー ボンネットにスバル純正品以外のアクセサリ用品を取り付けしないでください。ボンネットの重量が極端に重くなると、開けたときにステーが支えきれなくなるおそれがあります。

ー ステーに手をかけたり、横方向に力をかけたりしないでください。ステーが曲がり、ボンネットが開閉できなくなるおそれがあります。





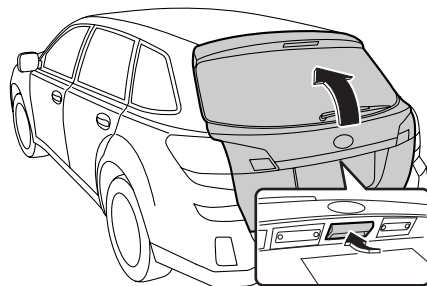
## リヤゲート（ワゴン）

リヤゲートは次を操作することで施錠・解錠ができます。

- 電波式リモコンドアロック
- 集中ドアロックスイッチ
- キーレスアクセス機能

### ■開けるとき

リヤゲートオープナースイッチを押してリヤゲートを少し開けます。手で支えながらゆっくりと最上部（全開位置）まで持ち上げます。



201775

運転する前に

### ■閉めるとき

リヤゲートをゆっくり下げて、上から手で押さえつけるように閉めます。半ドアでないことを確かめます。

#### ⚠ 注意

- 開閉や荷物の出し入れのとき、リヤゲートが頭や顔にぶつからないように注意してください。
- リヤゲートを閉めるときは、他の人の手（とくにお子さまには気をつけてください）や荷物を挟まないように注意してください。
- エンジンをかけたまま荷物の出し入れをするとき、排気ガスの熱でやけどをしないように注意してください。
- 走行前には、リヤゲートを完全に閉めてください。走行中に開くと荷物が落ちることがあります。
- 走行中や長時間のアイドリングをしているときはリヤゲートを完全に閉めてください。車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

次ページへ ⇒

⇒前ページより

- 応急処置用解錠レバーは指で操作しないでください。けがをするおそれがありますので、必ずドライバーなどを使用してください。
- リヤゲートを支えているガスステー部にうすいビニール袋、テープなどが噛み込まないように、また、荷物の積み下ろしなどで傷をつけないように注意してください。ステーのガス抜けにより、ゲートが自然に閉じてしまう場合があります。
- リヤゲートにスバル純正品以外のアクセサリ用品を取り付けしないでください。リヤゲートの重量が極端に重くなると、開けたときにステーが支えきれなくなるおそれがあります。



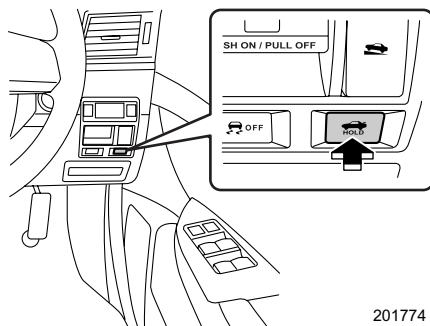
### アドバイス

- リヤゲートオープナースイッチを押すと同時にリヤゲートを開けようとした場合、リヤゲートが開かない場合があります。
- キャリアなどに積んだ荷物が当たらないように気をつけて開けてください。
- 傾斜した場所では、平坦な場所よりもリヤゲートの開閉がしにくかったり、急に開閉してしまう場合があります。

## トランク（セダン）

### ■車内から開けるとき

トランクオープナースイッチを約1秒以上押しします。




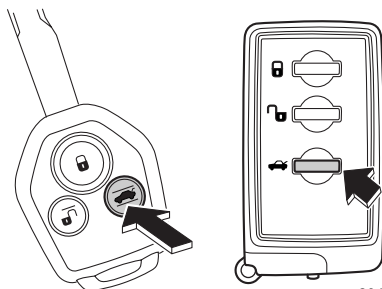
201774

### ■車外から開けるとき

キーレスアクセス&プッシュスタート装着車は、オープナースイッチでも解錠できます。  
☆2-11ページ参照

### ●電波式リモコンドアロック

アクセスキーまたはリモコンキーの  ボタンを約1.5秒以上押しします。

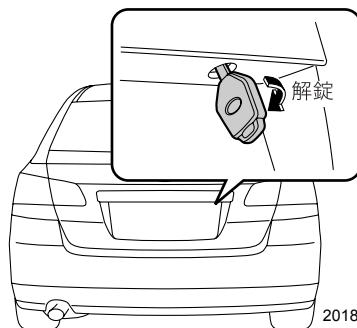


201909

### ●キー

キーまたはメカニカルキーを確実に差し込み、時計回りに回すと解錠します。

☆8-65ページ参照



201846

## ■閉めるとき

トランクをゆっくり降ろし、トランクを押さえつけるように閉めます。  
確実にロックされていることを確認してください。

### 警告

- 走行するときはトランク内に人を絶対に乗せないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。
- トランクは中から開けることができません。お子さまが入らないよう注意してください。閉じ込められると重大な傷害を受けるおそれがあります。

### 注意

- 走行するときはトランクを完全に閉めてください。開けたまま走行すると車内に排気ガスが侵入し一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
- トランクを開けるときにはワイパーアームは起こさないでください。また、ワイパーを作動させないでください。トランクとワイパーアームが接触し、トランクまたはワイパーアームを傷つけるおそれがあります。
- トランクを閉めるときには荷物や手足（近くのお子さまを含む）を挟まないように注意してください。周囲にお子さまがいる場合にはとくに注意してください。また、エンジンをかけたまま荷物の出し入れをするとき、排気ガスの熱でやけどをしないように注意してください。
- トランクを支えているガスステー部にうすいビニール袋、テープなどが噛み込まないように、また、荷物の積み下ろしなどで傷をつけないように注意してください。ステーのガス抜けにより、トランクが自然に閉じてしまう場合があります。
- トランクを閉めるときにはトランクを上から強く押しつけないでください。トランクがへこむことがあります。

### アドバイス

- 車から離れるときは盗難防止のため、トランクの中に貴重品を置かないでください。
- トランクの中にキーを置き忘れないようご注意ください。
- トランクルームランプは、トランクを開けると点灯し、閉じると消灯します。
- 長時間開けたままにすると、トランクルームランプが点灯したままとなりバッテリー上がりの原因になります。

## 電動ガラスサンルーフ

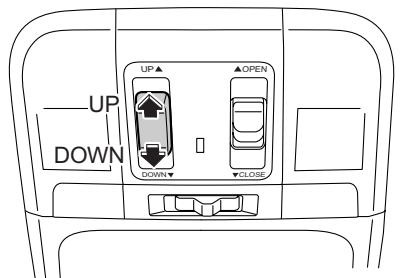
電動ガラスサンルーフは、エンジンスイッチがONのときに作動します。

### ■チルトアップ・チルトダウン

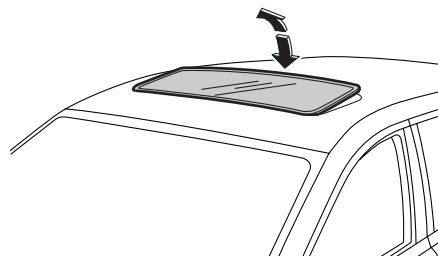
スイッチをUP側に押します。ガラスルーフの後端が上昇し停止します。

閉じるときは安全を確認してからスイッチをDOWN側に押し続けます。ガラスルーフが下降（チルトダウン）し、全閉になると停止します。

任意の位置で止めたいときは、スイッチを離します。



201843



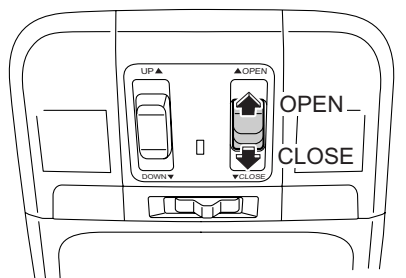
201844

運転する前に

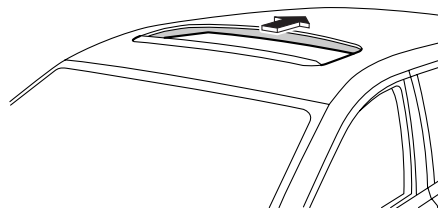
### ■スライド開閉

#### ●開けるとき

スイッチをOPEN側に押すとガラスルーフが開きます。ワゴンは全開手前位置で一旦停止します。再度スイッチを押すと全開まで開きます。途中で止めるときは、スイッチをOPENまたはCLOSE側に押します。



201778



201770

## ●閉めるとき

スイッチをCLOSE側に押しとガラスルーフが閉まります。途中で止めるときは、スイッチをOPENまたはCLOSE側に押します。

### 警告

- 走行中または一時停止したときに開口部から顔や手、物などを出さないでください。車外の物などに当たったり、万一のとき重大な事故になるおそれがあり危険です。とくにお子さまには気をつけてください。
- サンプルーフを開閉するときは、手や首を挟まないように安全を充分確認してください。とくにお子さまには気をつけてください。
- 走行中または一時停止したときに開口部のふちに腰掛けたりしないでください。万一のとき投げ出されることがあり危険です。

### 注意

- 停車中、開口部のふちに腰掛けたり、荷物をのせるなど大きな力を加えないでください。ルーフがへこむことがあります。
- 全開または全閉になったらスイッチを押し続けしないでください。サンプルーフモーターの損傷の原因になります。

### アドバイス

- ワゴンは全開で走行すると、車速によって「ポッポッポッ」と耳を圧迫するような音が発生します。一旦停止位置で使用すると圧迫音が軽減します。
- 車から離れるときや洗車するときは、サンプルーフが完全に閉じていることを確かめてください。
- 雨の後や洗車した後開けるときは、サンプルーフ上の水を拭き取ってください。室内に水が入ることがあります。
- 降雪後は、サンプルーフ上の雪を取り除いてから開けてください。
- キャリアなどを取り付けたときは、のせた荷物に当たらないように気をつけてください。

## ●サンルーフ反転機能

閉じるときに、窓枠とサンルーフとの間に異物の挟み込みを感知すると、サンルーフの作動が停止し、自動で全開位置まで開きます。

### ⚠ 注意

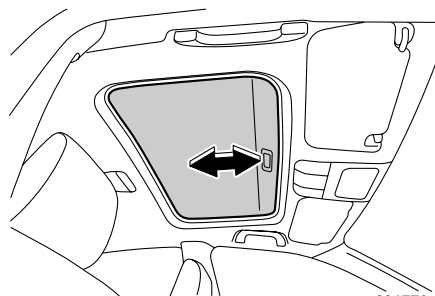
サンルーフを確実に閉めるため、閉めきる直前の部分では、挟み込みを感知しない領域があります。指など挟まないようにしてください。

### 🏠 アドバイス

環境、走行条件により、異物を挟んだときと同じ衝撃がサンルーフに加わると、サンルーフ反転機能が作動することがあります。

## ■サンシェード

サンルーフをスライドで開けるときのみ、ガラスルーフと連動します。  
サンルーフが全閉のときは、手で開閉できません。



201779

### 🏠 アドバイス

- サンシェードを開閉するときは、全開か全閉で使用してください。途中で止めて使うと、走行中音が出ることがあります。また、急ブレーキにより閉じることがあります。
- 炎天下で長時間駐車する場合は、サンシェードを閉めてください。サンシェードを開けたままにしておくと、車内が高温になります。

# シート

## 正しい運転（乗車）姿勢

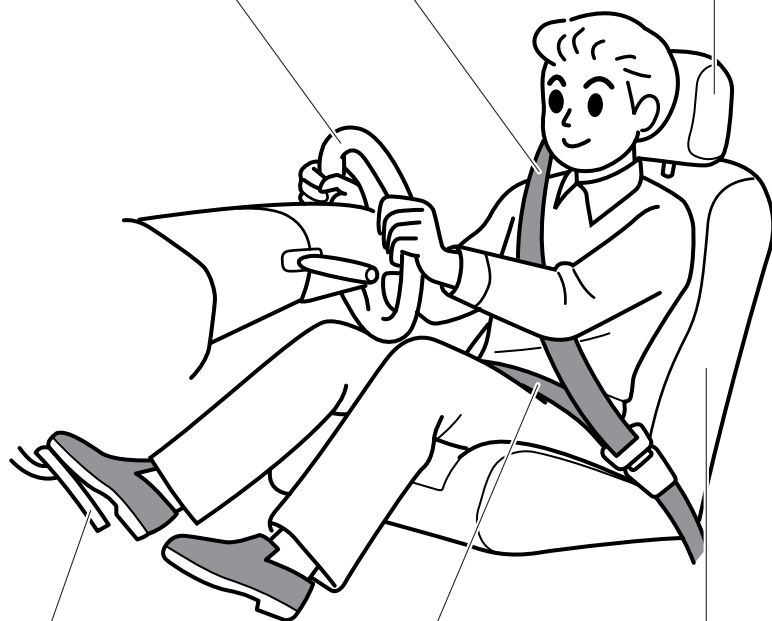
無理のない、正しい運転（乗車）姿勢がとれるようにシートを調整します。ミラーも調整します。そしてシートベルトを正しく装着します。

☆2-65ページ参照

ハンドル操作が  
楽にできること  
（運転席）

ねじれ、たるみがなく  
肩に充分かかること

ヘッドレストの中央が耳の後方にくること  
（フロントヘッドレストのみ）



ペダルが十分に  
踏み込めること  
（運転席）

腰骨のできるだけ  
低い位置に密着さ  
せること

背当てではできるだけ立てて背中を  
離さず、深く腰掛けること  
（ハンドルに近づき過ぎないこと）


201390




 **警告**

シートなどを調整するときは、次の事項を必ず守ってください。重大な傷害につながるおそれがあります。

- シート調整は、必ず走行を始める前に行ってください。とくに運転席は運転中に行わないでください。加速、減速でシートが動いてペダルに足が届かなくなる、背当てが倒れてハンドルに手が届かなくなる、運転への注意がそれ運転ミスを起こすなどの重大な事故や傷害につながるおそれがあります。
- シートを調整した後はシートを軽くゆさぶり「確実に固定されていること」を確かめてください。不完全なままではシートが動いたり、シートベルトの機能が十分に働かないことがあります。
- 走行中は助手席も含めて背当てを必要以上に倒さないでください。万一のとき、シートベルト本来の機能が発揮されないことがあります。
- 背当てと背中の中にクッションなどを入れないでください。正しい運転姿勢がとれないため危険です。
- フロントシートの下に物を置かないでください。物が挟まってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ヘッドレストを外したり、固定できる高さを超えての使用は、万一のとき頭や首を保護できず重大な傷害につながるおそれがあります。前席ヘッドレストは、ヘッドレスト中央が耳の後方になるように高さを調整してください。後席ヘッドレストは、格納位置から一段上げた位置で使用してください。

 **注意**

シートの調整は必ず大人が行い、シートや動いている部分に手を近づけないでください。また、同乗者や荷物にも注意してください。挟まれたり、荷物を損傷したりすることがあります。

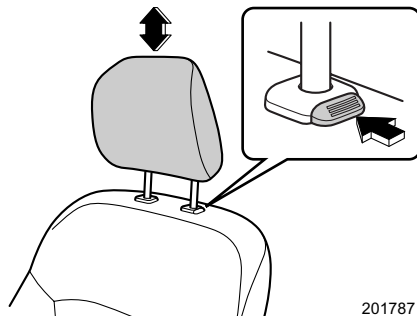
 **アドバイス**

納車時のシートダストカバー（シート汚れ防止用のポリエチレン製カバー）やフロアマットの汚れ防止フィルムは必ず取り外してから使用してください。

## フロントシート

### ■ヘッドレストの高さ調整

- 上げるときはそのまま引き上げます。
- 下げるときは、固定解除ボタンを押したまま押し下げます。
- 取り外すときは固定解除ボタンを押したまま引き抜きます。



201787

### 警告

ヘッドレストは確実に取り付けてください。  
外したり、固定できる高さを超えての使用は、万一のとき頭や首を保護できず重大な傷害につながるおそれがあります。  
ヘッドレスト中央が耳の後方になるように高さを調整してください。

### アドバイス

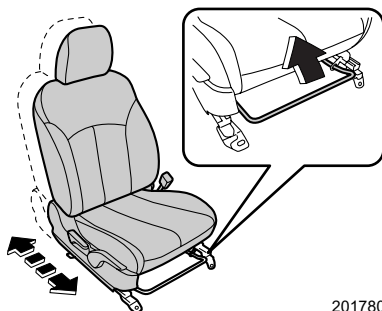
ヘッドレストが屋根に当たって取り外しにくいときは、背当てを倒すと取り外せます。

### ■マニュアルシート

シートのドア側と下部のレバー操作で調整ができます。

#### ●スライド調整（前後の調整）

下部のレバーを完全に引き上げた状態で前後に動かして調整します。レバーを下ろし、ロックを確認します。



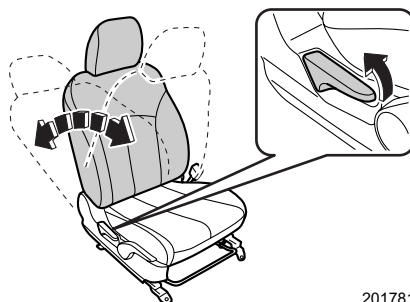
201780

### ⚠ 注意

後方にスライドする際には、後席の乗員の足が挟まれないように注意してください。

### ●リクライニング調整（背当て角度の調整）

レバーを完全に引き上げた状態で背当ての角度を調整します。レバーを下ろし、ロックを確認します。



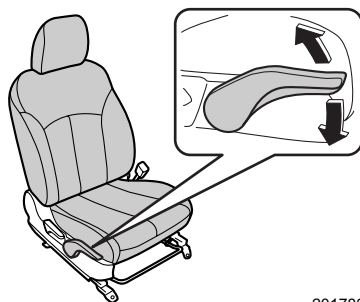
201781

### ⚠ 注意

- 調整する際には、レバーとレバーカバー内に指を挟まないよう気をつけてください。
- 背当てをを起こすときは、背当てを押さえながらゆっくりと戻してください。背当てが急に戻り、顔や身体にけがをするおそれがあります。

### ●上下調整（運転席のみ）

レバーを引くたびに上がります。また、押すたびに下がります。



201782

## ■パワーシート

シートのドア側のスイッチ操作で調整ができます。

### ⚠ 注意

操作するときはスイッチ部に異物を挟まないようにご注意ください。走行中、予期しないときに動くことがあります。

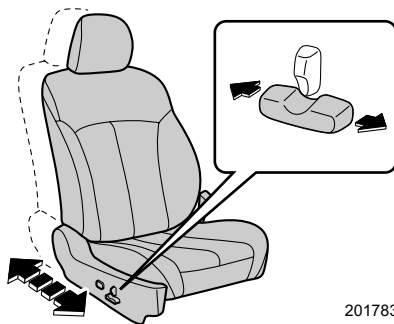
### 🏠 アドバイス

エンジンがかかっているときに調整してください。バッテリー上がりの原因となります。

- 操作するときは調整できる終点まで移動させたときにスイッチを押し続けしないでください。故障の原因になります。
- シートが人や物に当たった場合、それ以上無理に操作しないでください。故障の原因になります。

## ●スライド調整（前後の調整）

スイッチ全体を前後に動かして調整します。



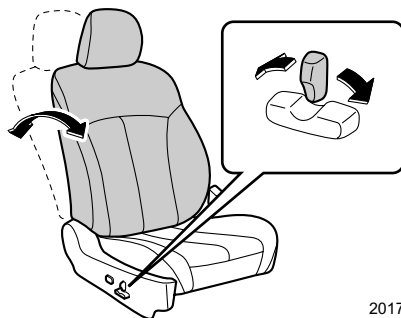
201783

### ⚠ 注意

後方にスライドする際には、後席の乗員の足が挟まれないように注意してください。

### ●リクライニング調整（背当て角度の調整）

リクライニングスイッチを前後に動かして背当て角度を調整します。



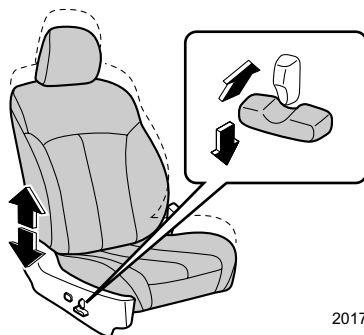
201784

### 🏠 アドバイス

リクライニング調整中は、リクライニング調整と他の調整を同時に行わないでください。

### ●上下調整

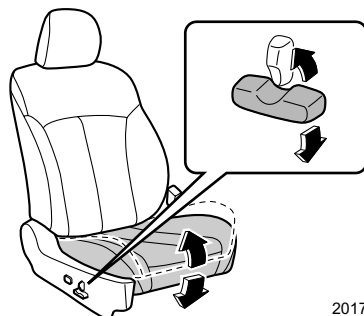
スイッチの後ろ側を上下に動かしてシートの高さを調整します。



201785

### ●座面前側の高さ調整

スイッチの前側を上下に動かして前側の高さを調整します。

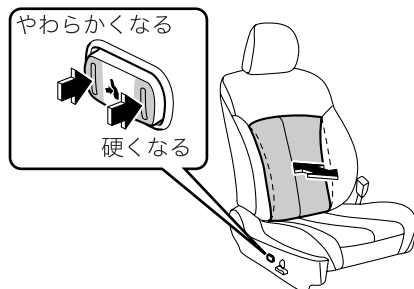


201786

## ■ランバーサポート

### ●腰部支え調整

スイッチの前側を押すと腰部を支える背当ての一部が硬くなります。スイッチの後ろ側を押すとやわらかくなります。無段階で調整することができます。



201788

## ■メモリーシート

好みのシート位置を登録させることができます。運転席ドア内側にある「1」または「2」のボタンおよびアクセスキー（キーレスアクセス&プッシュスタート装着車）ごとにシート位置を登録し、それぞれのシート位置を呼び出すことができます。

次のシート位置が登録できます。

- シートの前後位置
- 背当ての角度
- シートの高さ
- 座面前側の高さ

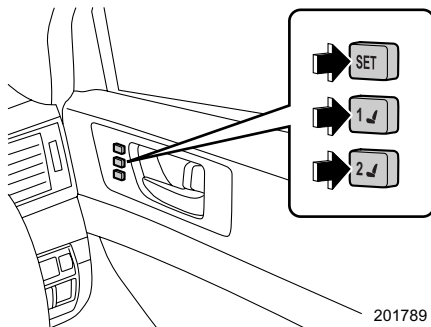
### ●登録のしかた

運転席ドアを閉め、シートをお好みの位置に調整します。以下を確認してからシートを調整してください。

- オートマチック車およびCVT車は、セレクトレバーがPであること
- マニュアル車は、電動パーキングブレーキがかけてあること
- エンジンスイッチがOFFであること


### ▼運転席ドア内側のボタンごとに登録するとき

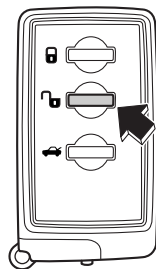
- ①「SET」ボタンを押しながら、「1」または「2」のボタンを長押しします。
- ② ブザー（ピッ）が鳴り、シート位置が登録されます。



201789

### ▼アクセスキーごとに登録するとき

- ①「SET」ボタンを押しながらアクセスキーの「」ボタンを押します。
- ②解錠のブザーとともにブザー（ピッ）が鳴り、シート位置が登録されます。



201915

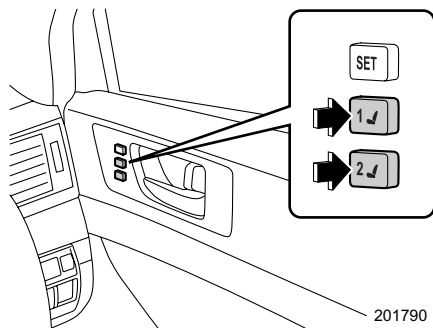
### ●呼び出ししかた

以下を確認してから、呼び出しをしてください。

- オートマチック車およびCVT車は、セレクタレバーが「P」であること
- マニュアル車は、電動パーキングブレーキがかけてあること


### ▼運転席ドア内側のボタンで呼び出すとき

- ① エンジンスイッチを ON にし、「1」または「2」のボタンを押すとブザーが鳴り（ピッ）、シートが登録位置に動きます。シートが登録位置まで動くと、ブザー（ピー）が鳴ります。



201790

### ▼アクセスキーで呼び出すとき

- ① 登録済のアクセスキーを携帯します。
- ② 施錠された状態で、アクセスキーの「」ボタンを押す、またはドアハンドルを握って運転席ドアを解錠します。

☆2-11ページ参照

- ③ 運転席ドアを開けるとブザーが鳴り（ピッ）、シートが登録位置に動きます。
- ④ シートが登録位置まで動くと、ブザー（ピー）が鳴ります。

### ▼呼び出し中止のしかた


次のいずれかを押すと、呼び出し動作を中止します。

- パワーシート調整スイッチ
- 「SET」ボタン
- 「1」または「2」のボタン

## ●消去のしかた

### ▼アクセスキーに登録したシート位置

運転席のドアを確実に閉め、次の操作をしてください。

- ①「SET」ボタンを押しながらアクセスキーのボタンを押します。
- ②ブザー（ピー）が鳴り、シート位置が消去されます。



### 警告

- シート位置の登録、呼び出しおよび消去は、運転前に行ってください。
- 正しいシート位置で運転してください。シート位置が適切でない場合、運転に支障が生じる場合は、シートベルトの効果も低下し重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながる事故が発生するおそれがあります。



### 注意

- シート位置の呼び出し時に異常を感じたときは、以下のいずれかを押してシートの呼び出しを停止してください。
  - － パワーシート調整スイッチ
  - － 「SET」ボタン
  - － 「1」または「2」のボタン
- シート位置を呼び出す場合は、乗員や荷物に注意してください。手足を挟まれたり、荷物を損傷することがあります。
- アクセスキーで呼び出した場合は、シートが登録位置まで動いてから運転席に座ってください。




### アドバイス

- 自動施錠の作動が作動ありに設定している場合、解錠してから30秒以内にドア（リヤゲート含む）を開けなかったときは、自動的に施錠されます。  
☆1-2、2-13ページ参照
- 自動施錠の作動が作動なしに設定している場合、アクセスキーのアンロックボタンを押す、またはドアハンドルを握って確実に運転席ドアを解錠したあと、約20分放置したときはシートの呼び出しができません。  
☆1-2ページ参照
- アクセスキーは、同じシート位置を同時に複数登録できません。
- 呼び出したいシート位置が登録されているアクセスキーのみ、携帯してください。アクセスキーを2つ以上携帯している場合、呼び出されないことがあります。



- アクセスキーを携帯し、キーレスアクセス作動エリアに入った後、45秒を超えてからドアを解錠した場合、シート位置の呼び出しができない場合があります。

☆2-9ページ参照

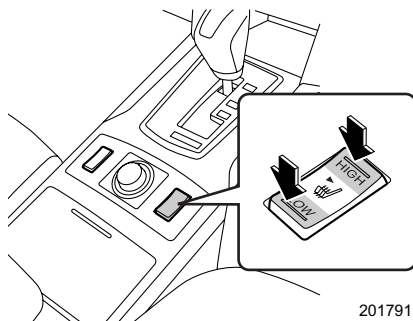
- アクセスキーでシート位置の呼び出しができない場合は、運転席ドア内側の「SET」ボタンを押してドアを閉めてください。その後、アクセスキーの  ボタンまたはリクエストスイッチを押して施錠してから再度呼び出し操作を行ってください。
- シート位置を同時に複数呼び出した場合は、正常に作動しないことがあります。
- 「1」または「2」のボタンを押して呼び出した場合、登録されたシート位置と同じときは、ブザーが2回鳴ります（アクセスキーの場合は、登録されたシート位置と同じ場合ブザーが鳴りません）。
- エンジンスイッチがOFFの場合でも、運転席ドアを開けてから45秒以内に「1」または「2」のボタンを押したときはシート位置の呼び出しができます。
- 運転席ドア内側のボタンに登録する場合、ドアを開けてから45秒を超えるとシート位置の登録ができない場合があります。
- 登録済みの「1」または「2」のボタンおよびアクセスキーに新しいシート位置を登録すると、以前に登録したシート位置は消去されます。
- バッテリーを交換した場合でも、登録したシート位置は消去されません。
- シート位置を消去した直後に、新規登録することはできません。しばらく待ってから登録してください。

運転する前に

## ■シートヒーター

エンジンスイッチがAccまたはONのとき、スイッチを押すとシートが暖まります。作動中はスイッチ内のランプが点灯します。停止させるときは、スイッチを水平にします。

- HIGH：早く暖めたいときに使います。  
暖まったらLOWにしてください。
- LOW：保温するときに使います。通常はこの位置で使用してください。



201791

### 注意

- 長時間使い続けるとやけどの原因になることがあります。お子さま、皮ふの弱い方、体の不自由な方などは注意してください。
- 毛布や座ぶとんなどをのせて使用しないでください。
- 水、ジュースなどをこぼしたときは、乾いた布ですぐに拭き取り、充分乾かしてから使用してください。

### アドバイス

- エンジンがかかっているときに使用してください。バッテリー上がりの原因となります。
- シートに硬いものや突起のあるものをのせないでください。

## リヤシート（ワゴン）

### ■ヘッドレスト

使用するときは、常に格納位置から一段上げた位置にしてください。



格納位置



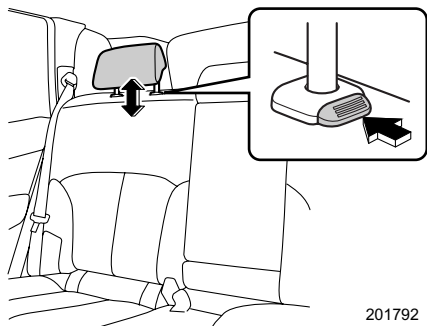
使用位置

201916

### ●ヘッドレストの高さ調整

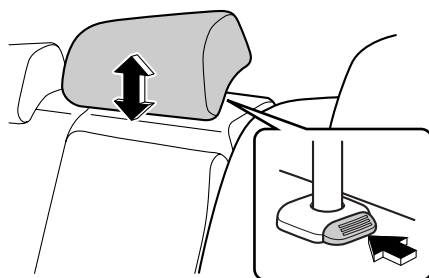
- 上げるときはそのまま引き上げます。
- 下げるときは固定解除ボタンを押したまま押し下げます。
- 取り外すときは固定解除ボタンを押したまま引き抜きます。

#### <左右席用>



201792

#### <中央席用>



201793

**警告**

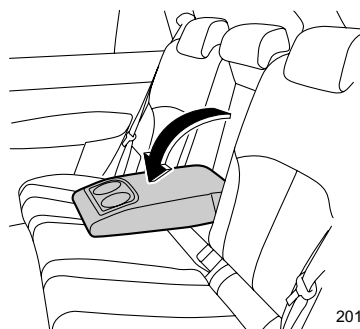
ヘッドレストは確実に取り付けてください。  
外したり、固定できる高さを超えての使用は、万一のとき頭や首を保護できず重大な傷害につながるおそれがあります。

**アドバイス**

乗員がいないときは下げておくと、後方視界が良くなります。

**■アームレスト**

引き出して、ひじ掛けとして使います。



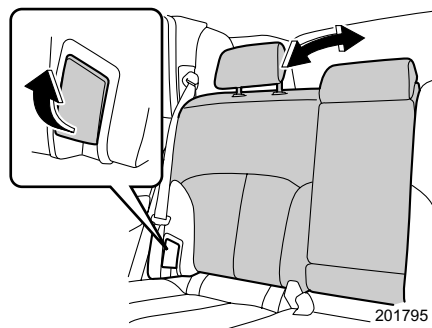
201794

**注意**

アームレストを使うとき上に乗ったり、重いものを乗せないでください。アームレストが損傷したり、思わぬけがをすることがあります。

**■背当ての角度調整（リクライニング調整）**

レバーを引くと背当て角度の調整ができます。



201795

**注意**

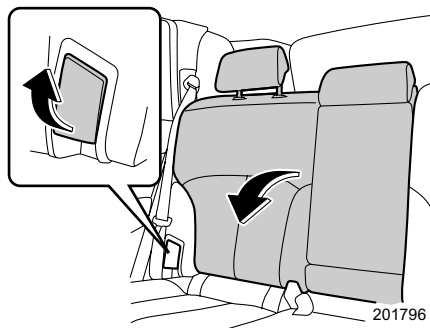
- リクライニング操作後は、背当てをゆすって、確実に固定されていることを確認してください。また、走行中は必要以上に背当てを倒さないでください。万一のとき、シートベルトが肩から外れ、シートベルト本来の機能が発揮されないことがあります。
  - ISO FIX方式の乳児用（ベビー）／幼児用（チャイルド）チャイルドシートを装着したとき、リクライニング操作を行わないでください。
  - 後ろにリクライニングするときにはトノカバーを調整してください。
- ☆4-30ページ参照

**■6：4分割リヤシートの背当てを倒し、荷室として使うとき**

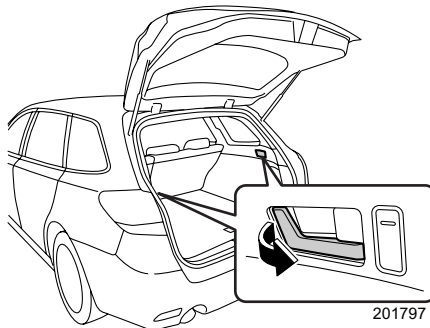
リヤシートの背当てを倒すことにより、荷室として広く使うことができます。背当ては左右に分割されているシートをそれぞれ倒すことができます。

**●背当てを倒すとき**

レバーを引くと前に倒れます。



荷室の左右にあるレバーを引くと背当てが前に倒れます。



## ●背当てを元に戻すとき

背当てを起こし、確実にロックします。

### 警告

- 背当てを倒して荷室として使用する場合は、お子さまも含めて走行中、人をお任せしないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けることがあります。
  - 荷物や長いものを乗せたときは、荷物を固定してください。急ブレーキをかけたときなどに荷物が飛びだし重大な傷害を受けることがあります。
- ☆2-49ページの注意事項もお守りください。
- 背当てを元に戻したときは、背当てを軽く前後にゆさぶり確実に固定されていることを確認してください。固定されていないと急ブレーキ時などに背当てが倒れたり、荷室内の物が飛びだすなど思わぬ事故につながり重大な傷害につながるおそれがあります。
  - 背当てを元に戻したときは、シートベルトが背当てに挟まれていないことを確認してください。シートベルトが背当てに挟まれていると、衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

### 注意

- 背当ては、パネにより前に倒れます。レバーを引くときは、必ず背当てを支えた状態でレバーを操作してください。
- チャイルドシートを取り付けているときは、背当てを倒さないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- レバーにより背当てを倒すときは、リヤシートに人がいないこと、物が置かれていないことを確認してください。背当てが急に倒れ思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背当てを倒すとき、中央席のシートベルトを格納してください。

☆2-73ページ参照

### アドバイス

上り坂などで背当てが倒れないときは、手で倒してください。

## リヤシート（セダン）

### ■ヘッドレスト

使用するときは、常に格納位置から一段上げた位置にしてください。



格納位置



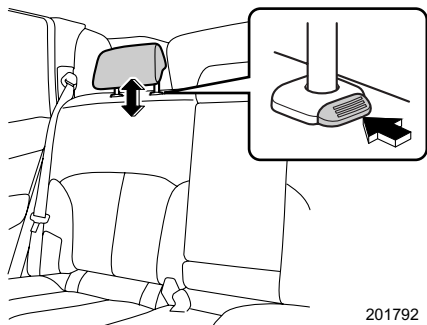
使用位置

201916

### ●ヘッドレストの高さ調整

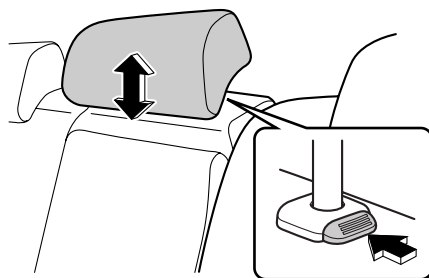
- 上げるときはそのまま引き上げます。
- 下げるときは、固定解除ボタンを押したまま押し下げます。
- 取り外すときは固定解除ボタンを押したまま引き抜きます。

#### <左右席用>



201792

#### <中央席用>



201793

### ⚠ 警告

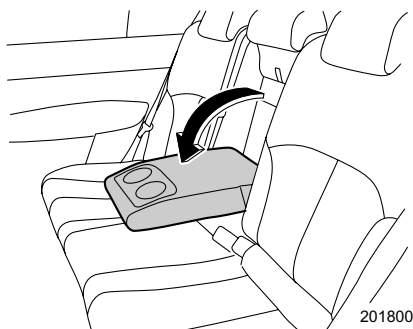
ヘッドレストは確実に取り付けてください。  
外したり、固定できる高さを超えての使用は、万一のとき頭や首を保護できず重大な傷害につながるおそれがあります。

### 🏠 アドバイス

乗員がいないときは下げておくと、後方視界が良くなります。

## ■アームレスト

引き出して、ひじ掛けとして使います。



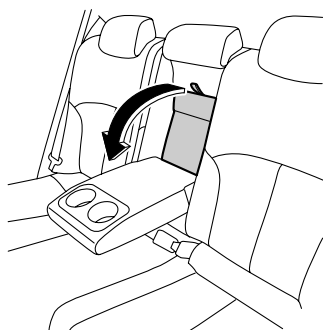
201800

### ⚠ 注意

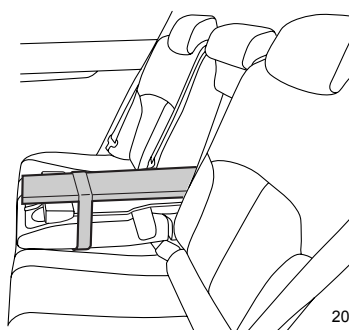
アームレストを使うとき上に乗ったり、重いものを乗せないでください。アームレストが損傷したり、思わぬけがをすることがあります。

## ■アームレストスルー

アームレストを引き出します。ストラップを引いてロックを外し、仕切りを倒すとアームレストスルーになります。



201801



201802

### ⚠ 警告

アームレストスルーにしたときお子さまがトランク内に入らないよう気をつけてください。重大な事故につながるおそれがあります。

☆2-43ページ参照



### 注意

トランク内の荷物が飛び出さないようにしてください。急ブレーキをかけたときなどに荷物が車内に飛びだし、けがをすることがあります。

とくに、スキー板などの長いものは注意してください。

アームレストスルーにするときは、仕切板に手や指を挟まないよう注意してください。



### アドバイス

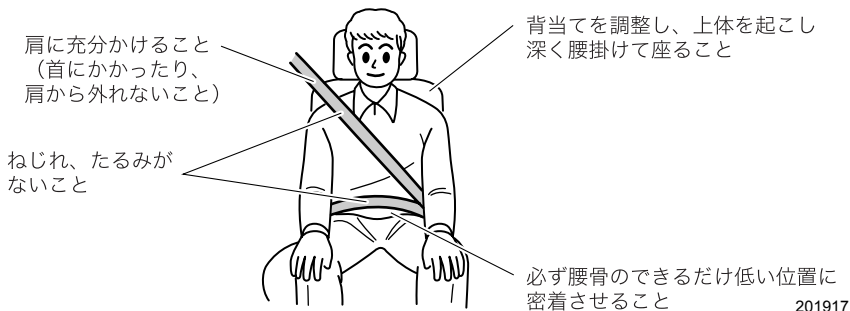
使用しないときは仕切板を押し上げ、確実にロックしてください。



# シートベルト

## シートベルトの正しい着用

シートベルトは正しく着用しないと効果が半減したり、危険な場合があります。次の使用方法にしたがって走行前に運転者は必ず着用し、同乗者にも必ず着用させてください。



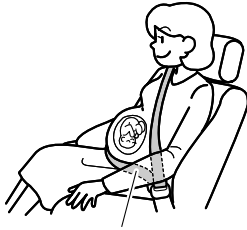
### 警告

シートベルトの着用は、次の事項を必ず守ってください。重大な傷害につながるおそれがあります。

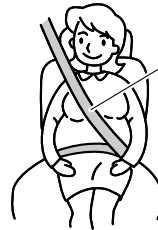
- 走行する前に全員が必ずシートベルトを着用してください。
- シートベルトは一人用です。二人以上で一本のベルトを使用しないでください。
- シートベルトはねじれたり、裏返しにならないように使用してください。ねじれたり裏返しになっているとベルトの幅が狭くなったり、局部的に強い力を受けて万一のとき危険です。
- シートベルトは腰骨のできるだけ低い位置に密着させて着用してください。柔らかい腹部にかけた場合は万一のとき強い圧迫を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 肩ベルトは脇の下を通さずに確実に肩にかけてください。肩に充分にかかっていないと上半身が拘束されず充分な効果を発揮しません。
- シートベルトは上体を起こし、シートに深く腰掛けた状態で着用してください。正しい姿勢については「正しい運転（乗車）姿勢」（2-48ページ）をご覧ください。
- シートの背当てを必要以上に倒して走行しないでください。衝突したときなどに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。
- ハンドルやインストルメントパネルに必要以上近づいて運転しないでください。
- シートベルトを洗濯バサミやクリップなどでたるみをつけないでください。充分な効果を発揮しません。

**警告**

- 妊娠中の方や疾患のある方も、万一のときに備えシートベルトを着用してください。局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので医師に相談し、注意事項を確認してください。妊娠中の方は、腰ベルトは腹部を避けて腰骨のできるだけ低い位置にぴったり着用してください。肩ベルトは確実に肩に通し、腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。



腰骨のできるだけ低い位置



胸部にかかるとように

201918

- シートベルトのバックルに異物が入らないようにしてください。異物が入るとプレートがバックルに完全にはまらなくなり、走行中に外れる場合があります。
- お子さまもシートベルトを必ず着用させてください。膝の上でお子さまを抱いていても、急ブレーキや衝突したときなどに充分支えることができず、お子さまへの重大な傷害につながるおそれがあります。
- お子さまでシートベルトを着用したときベルトが首、あご、顔などに当たるお子さまはスバル純正チャイルドシート（別売）を使用してください。万一のとき、ベルトによる負傷を防ぎます。スバル純正チャイルドシートの使用方法は添付されている専用の取扱説明書をご覧ください。

**警告**

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。とくにシートベルトを体に巻きつけて遊んだりすると、窒息などの重大な傷害につながるおそれがあります。万一、シートベルトが体に巻きついて外せなくなった場合は、はさみなどでベルトを切断してください。
- シートベルトにほつれや切り傷ができたり、金具部などが正常に動かなくなったときは、シートベルトを交換してください。また、装着した状態で万一事故にあった場合は、外観に異常がなくても必ずスバル販売店で交換してください。そのまま使用すると正常に働かず、十分な効果を発揮しません。
- シートベルトの改造や取り外しなどはしないでください。衝突などのとき十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトが汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯を使用してください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤や漂白剤はシートベルトを弱めるため絶対に使用しないでください。



200364

**注意**

炎天下に長時間駐車し、室内が高温になっている場合は、金属部分を持たずに、樹脂部分を持ってシートベルトを着用してください。シートベルトの金属部が熱くなっている場合があり、やけどにつながるおそれがあります。

## フロントシートベルト

シートベルトは、身体の動きに合わせて自由に巻き取り、引き出しができますが、強い衝撃を受けたときやベルトを急激に引き出そうとすると、ベルトが自動的にロックします(ELR機構)。

### ■3点式シートベルトの着用のしかた

#### ●着用のしかた

- ① タングプレートをつかみ、ゆっくり引き出します。



201919

- ② ベルトがねじれないようにし、タングプレートをバックルの中へ、“カチッ”と音がするまで差し込みます。



201920

- ③ 正しい姿勢で腰掛け、腰のベルトを腰骨のできるだけ低い位置に密着させます。



201921

## ●外すとき

外すときはバックルの「PRESS」ボタンを押します。

ベルトが自動的に収納されますので、ひっかかったり、ねじれたりしていないかを確認します。

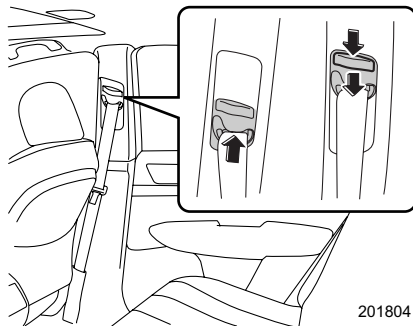


### アドバイス

- ベルトが首に当たったり、肩から外れて腕にかかってしまうときは、ショルダーアジャスターでベルトの高さを調整します。
- ベルトが引き出せないときはベルトをゆるめてもう一度ゆっくり引き出します。  
それでも引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ、再度ゆっくりと引き出します。

## ■シートベルトの高さ調整（ショルダーアジャスター）

- ①上げるときはショルダーアジャスター本体を上動かします。下げるときはボタンを押し下げながらショルダーアジャスターを動かして最適な位置を選びます。
- ②ショルダーアジャスターが固定されていることを確認します。



201804



### 警告

ショルダーアジャスターを調整するときは、次のことをお守りください。守らないと衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害を受けるおそれがあります。

- シートベルトが首に当たらないように、また、肩の中央に充分かかるようにできるだけ高い位置に調整してください。
- 調整した後は、確実に固定されていることを確認してください。

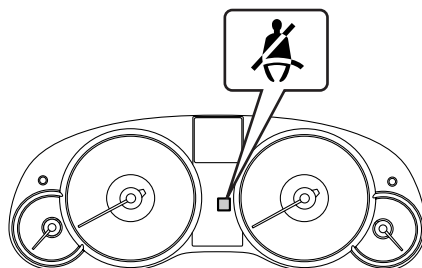


### アドバイス

アジャスターが上がらない場合、ベルトが引き出せず固定された状態になっている場合があります。ベルトが引き出せる状態にしてから、アジャスターを操作してください。

## ■シートベルト警報

エンジンスイッチがONで運転席シートベルトが未着用の場合、メーター内の警告灯が点灯します。運転席シートベルトを着用すると消灯します。運転席シートベルト未着用のまま車速約22 km/h以上で走行すると警告灯が点滅し、ブザーが鳴ります。上記作動は運転席シートベルトを着用するまで約2分間続きます。約2分経過しても運転席シートベルト未着用の場合、警告灯が点滅から点灯に切り替わり、ブザーは停止します。警告灯は運転席シートベルトを着用するまで点灯します。



201803

### 🏠 アドバイス

このとき車速が約22 km/h以下になっても、上記作動は運転席シートベルトを着用するまで約2分間続きます。

## ■テンションレデューサー（ベルト張力減少装置）

運転席と助手席には、エンジンスイッチがONの状態ではバックルとタンクプレートを結合すると、ベルトの巻き取り力が減少して身体への圧迫感が軽減する装置がついています。タンクプレートをバックルから外すと巻き取り力は元に戻り、ベルトがスムーズに巻き取られます。

### 🏠 アドバイス

シートベルトを着用したままでエンジンスイッチを切ると、一旦締め込むことがあります。この装置の正常な作動です。

## リヤシートベルト

3点式シートベルトが3名分装備されています。ワゴン車の中央席には、格納できる3点式シートベルトが装備されています。

### ■外側席用シートベルト

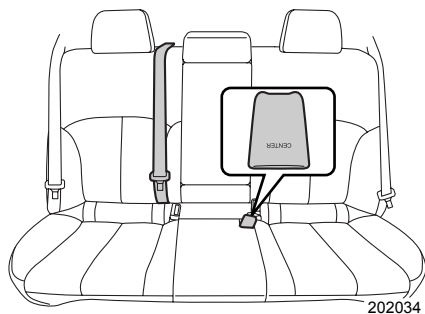
フロントシートベルトと同じ方法で着用および外します。

☆2-68ページ参照

### ■中央席用シートベルト（セダン）

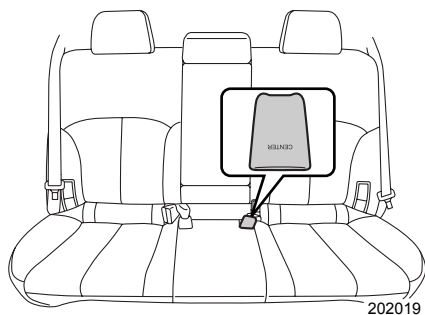
フロントシートベルトと同じ方法で着用および外します。このとき、必ず中央席用のバックルを使用してください。バックルには「CENTER」印があります。

☆2-68ページ参照



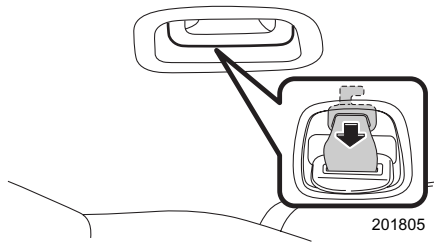
### ■中央席用シートベルト（ワゴン）

必ず中央席用のシートベルトを使ってください。中央席用バックルには「CENTER」印があります。

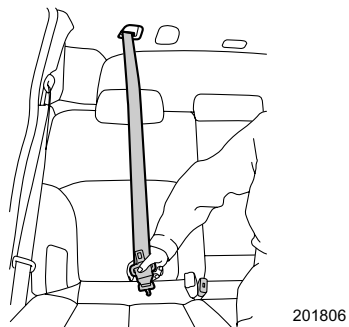


●着用するとき

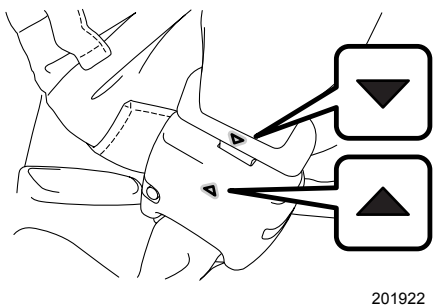
- ① カーゴルームのルーフにある、格納ホルダーよりタングプレートを後方へ引き抜いてください。



- ② カーゴルームの格納ホルダーからシートベルトを引き出します。

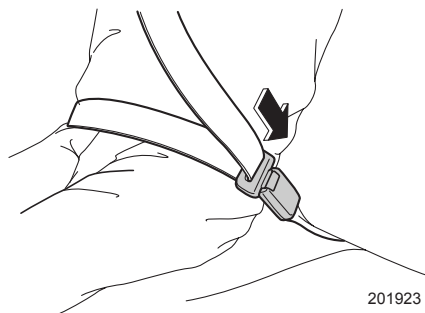


- ③ コネクター（小さいバックル）とタングプレートを▲マークが付いている面を合わせて結合します。





- ④ フロント 3 点式シートベルトと同じ要領で着用します。



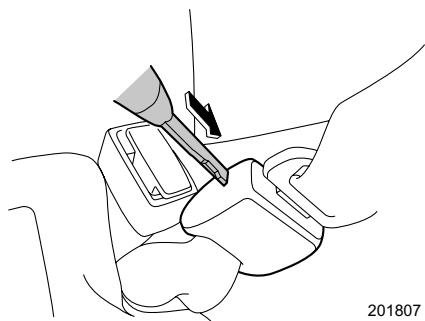
201923

**注意**

コネクターを結合しないで使用するとシートベルト本来の機能が発揮されません。必ず結合してから着用してください。

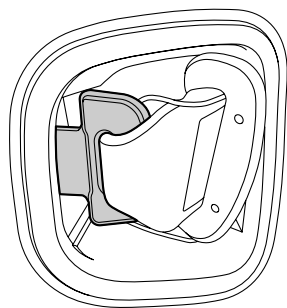
●格納するとき

- ① バックルの「PRESS」ボタンを押します。
- ② コネクターの解除ボタンをキーなどを使って押し分離します。



201807

- ③ シートベルトを巻き取り、小さいタングプレートカーゴルームの格納ホルダーに差し込み固定します。



201924



**注意**

- 使用しないときは、シートベルトを格納しておいてください。
- シートベルトの脱着時には、隣の乗員に金具が当たらないように気をつけてください。
- 巻き取りが早いので、コネクターを分離するときはシートベルトを手で持ってください。急に巻き取らせないように気をつけてください。

# お子さまの安全

## お子さま専用シート

お子さまが乗車するときは、お子さま専用シートで安全を確保してください。

### ■知っておいていただきたいこと

- お子さまの年齢や体格に合わせ、適切なお子さま専用シートを選んでください。
- お子さま専用シートの取り付け方法および取り外し方法は、それぞれのお子さま専用シートに付属の取扱説明書をお読みください。
- この車は、2006年10月1日施行の新保安基準に適合したISO FIX対応チャイルドシート固定専用バーを標準装備しています。

### ■お子さま専用シートの種類

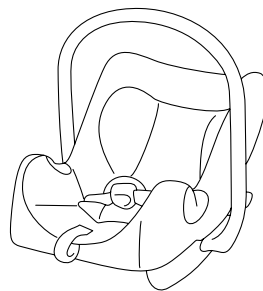
ECE R44※の基準に適合するお子さま専用シートは、お子さまの体重によって次の5つの質量グループに分類されます。

- グループ0 : ~10kg
- グループ0+ : ~13kg
- グループI : 9~18kg
- グループII : 15~25kg
- グループIII : 22~36kg

※ECE R44は、チャイルドシートに関する国際的な安全基準です。

スバル純正品で、次のカテゴリーの製品をご用意しております。詳しくはスバル販売店にご相談ください。

- ベビーシート
  - － 体重の目安：~13kg
  - 新保安基準の質量グループ0および0+に適合しています。



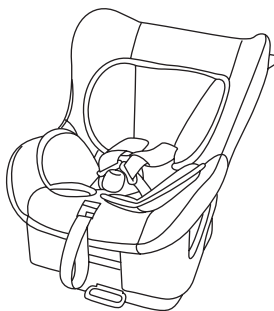
202021

次ページへ ⇒

運転する前に

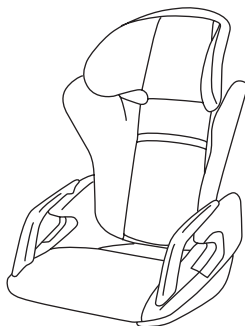
⇒前ページより

- チャイルドシート  
－ 体重の目安：9～18kg  
新保安基準の質量グループ0、0+ およびⅠ  
に適合しています。



201937

- ジュニアシート（ベルト固定専用）  
－ 体重の目安：15～36kg  
－ 年齢の目安：3～12歳  
新保安基準の質量グループⅡ およびⅢに適合しています。



201938

**警告**

- チャイルドシートは確実に固定してください。確実に固定されていないと、衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。(詳しくは、チャイルドシート(別売)に付属の取扱説明書をご覧ください。)
- チャイルドシートは、お子さまの年齢や体格に合ったものをご使用ください。
- チャイルドシートは後席に取り付けてください。
- 助手席にチャイルドシートを絶対に取り付けしないでください。SRS エアバッグが作動したとき、強い衝撃を受け、命にかかわるような重大な傷害につながるおそれがあります。
- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。とくにシートベルトを体に巻きつけて遊んだりすると、窒息などの重大な傷害につながるおそれがあります。万一、シートベルトが体に巻きついて外せなくなった場合は、はさみなどでベルトを切断してください。



200364

- チャイルドシートは、お子さまを乗せていないときでもしっかりとシートに固定しておいてください。また、荷室に収納する場合でも、ロープなどを利用して固定してください。固定しないまま客室または荷室に放置すると、ブレーキをかけたときなどにチャイルドシートが動き乗員や物に当たるなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

**アドバイス**

- お子さまに最適なチャイルドシートについては、チャイルドシート製造業者、販売店またはスバル販売店にご相談ください。
- 身体が十分に大きく、チャイルドシートが不必要なお子さまは、リヤシートに乗せて車のシートベルトを使用してください。

## シートベルトで固定するチャイルドシートについて

### ■チャイルドシートの適合性一覧表(シートベルトを使用して取り付け)

お子さまの体格に合わせ、チャイルドシートを適切にご使用ください。

質量グループ (お子さまの体重)	着座位置		
	フロントシート	リヤシート	
	助手席	外側席	中央席
0 (10kgまで)	×	U	×
0+ (13kgまで)	×	U	×
I (9~18kgまで)	×	U	×
II (15~25kgまで)	×	U	×
III (22~36kgまで)	×	U	×

#### 記号の説明

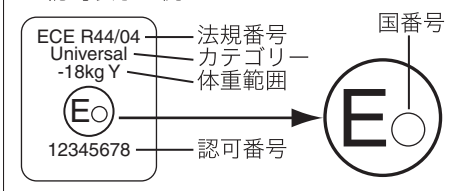
U：この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーのチャイルドシートに適しています。

×：チャイルドシートを取り付けることはできません。

### 🏠 アドバイス

- チャイルドシートに関する国際的な安全基準であるECE R44に適合しているチャイルドシートには、シートベルトで固定する機構が付いています。詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。
- チャイルドシートを購入する際は、質量グループに一致した製品をお選びください。
- 「U」のチャイルドシートには、ECE R44認可表示と取扱説明書に「UNIVERSAL」（汎用）と案内されているものもあります。

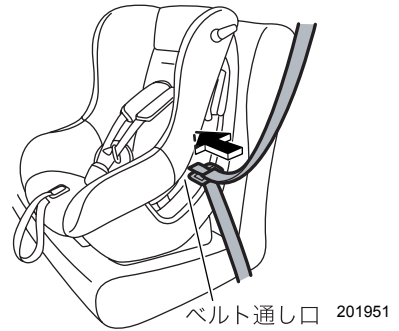
#### EC認可表示の例



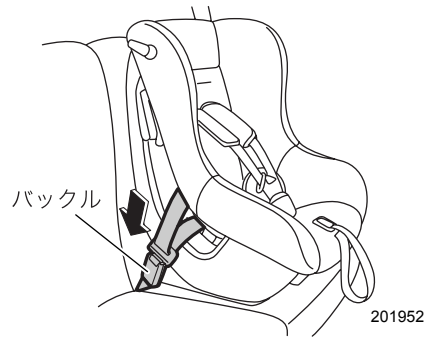
- スバル純正のチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用に際してはスバル販売店にご相談ください。

## ■チャイルドシートの取り付け

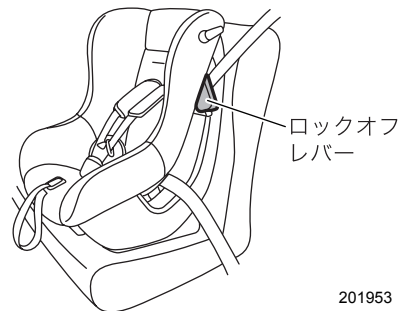
- ①チャイルドシートを、リヤシートの外側席にまっすぐに置きます。このとき、チャイルドシート背面とリヤシートの間ですき間ができないように、リヤシートの背当て角度を調整します。
- ②チャイルドシート背面のベルト通し口に、シートベルトをねじれがないように通します。



- ③シートベルトのタンブプレートをバックルの中へ、“カチッ”と音がするまで差し込みます。

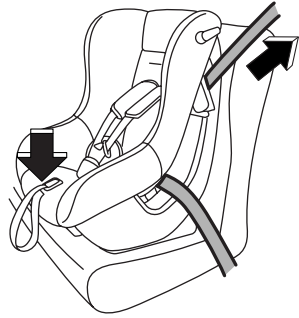


- ④チャイルドシートのロックオフレバーを開き、肩ベルトをロックオフレバーの下に通します。



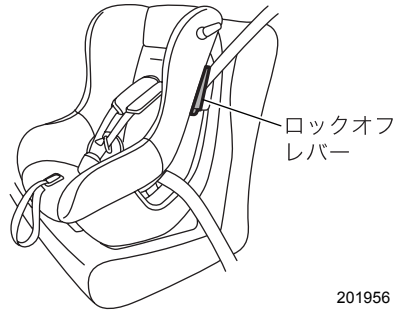
運転する前に

- ⑤ チャイルドシートに体重をかけてリヤシートに押しつけながら、肩ベルトをたるみがなくなるまで巻き取らせてます。



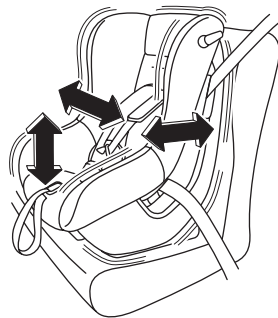
201955

- ⑥ チャイルドシートのロックオフレバーを閉じ、肩ベルトを固定します。



201956

- ⑦ チャイルドシートを前後左右にゆすり、シートベルトのゆるみやチャイルドシートのがたつきがないことを確認します。

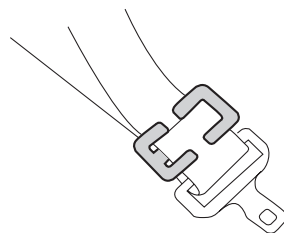


201957



チャイルドシートにシートベルトの固定装置が備わっていない場合は、ロッキングクリップを使用して固定します。

取り付け後はチャイルドシートを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認してください。



202006

## ■解除のしかた

バックルの「PRESS」ボタンを押して、シートベルトを外します。

### アドバイス

- 詳しい取り付け、取り外し方法については、それぞれのチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。
- ワゴンは、背当てを起こした状態で使用してください。
- ロッキングクリップについて、詳しくはスバル販売店にご相談ください。

運転する前に

## ISO FIX固定バー方式で固定するチャイルドシートについて

後席の左右席には、乳児用（ベビー）／幼児用（チャイルド）のスパル純正ISO FIXチャイルドシートを固定するための専用のISO FIX固定バーとテザーアンカーが装備されています。

### ■適合性一覧表（ISO FIX方式での取り付け）

お子さまの体格に合わせ、チャイルドシートを適切にご使用ください。

質量グループ (お子さまの体重)	サイズ等級	固定具	車両ISO FIX位置
			リヤシート
			外側席
キャリコット	F	ISO/L1	×
	G	ISO/L2	×
0 (10kgまで)	E	ISO/R1	IL
0+ (13kgまで)	E	ISO/R1	IL
	D	ISO/R2	IL
	C	ISO/R3	IL
I (9～18kgまで)	D	ISO/R2	IL
	C	ISO/R3	IL
	B	ISO/F2	IUF
	B1	ISO/F2X	IUF
	A	ISO/F3	IUF
II (15～25kgまで)			(I)
III (22～36kgまで)			(I)

#### 記号の説明

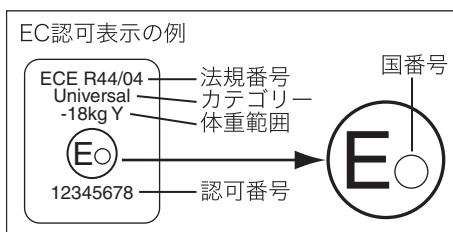
- (I)：サイズ等級表示（AからG）のないチャイルドシートの、車両の各シート位置でのISO FIX対応チャイルドシート固定機構の取り扱いについては、チャイルドシート製造業者、販売店またはスパル販売店にご相談ください。
- IUF：この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーのISO FIX対応の前向きのチャイルドシートに適しています。
- IL：この質量グループでの使用を許可された準汎用（セミユニバーサル）カテゴリーのISO FIX対応の後向きのチャイルドシートに適しています。
- ×：ISO FIXチャイルドシートを取り付けることはできません。

## 🏠 アドバイス

- チャイルドシートを購入する際は、ISO FIXサイズ等級に一致した製品をお選びください。

固定具	お子さまの 大きさ	使用の向き	形状、大きさ
ISO/R1		後ろ	
ISO/R2	幼児	後ろ	小型
ISO/R3		後ろ	大型
ISO/F2		前	低型
ISO/F2X		前	低型
ISO/F3		前	全高

- 「IU」のチャイルドシートには、ECE R44認可表示と取扱説明書に「UNIVERSAL ISO FIX」と案内があります。



- スバル純正のチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用に際してはスバル販売店にご相談ください。
- キャリコットは、横向きに取り付けることのできるベビーシートのことです。詳しくは、チャイルドシート製造業者、販売店またはスバル販売店にご相談ください。

## ⚠️ 警告

- 必ずISO FIX固定バーとテザーアンカーをセットで使用してください。セットで使用しない場合は、衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ISO FIXチャイルドシートを取り付ける際は、以下の部分に異物やシートベルトの噛み込みがないことを確認してください。
  - ISO FIX固定バー
  - ベースシートのロック部
  - テザーベルトのフック
 シートベルトや異物が噛み込んだ場合、確実にロックされず、衝撃を受けたときに重大な傷害につながるおそれがあります。

## ■ISO FIX固定バー

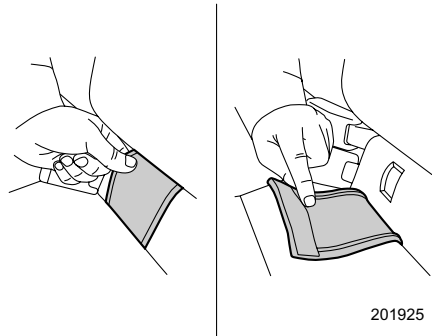
背当ての下側のカバーをめくるとあります。  
ISO FIX 固定バーが装備されていることを示すタグが背当てについています。



201845

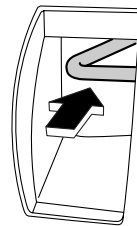
## ●使いかた

チャイルドシートを取り付けるときは、カバーをめくります。



201925

ISO FIX固定バーに差し込みます。



201926



### アドバイス

チャイルドシートを取り外した後は、ISO FIX 固定バーのカバーを元の状態に戻してください。

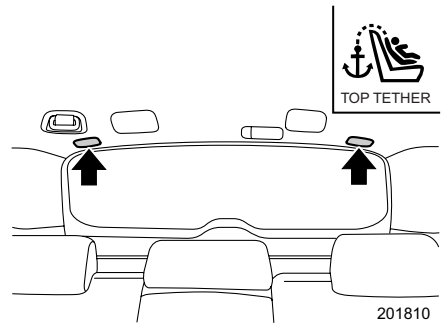
## ■テザーアンカー

### 警告

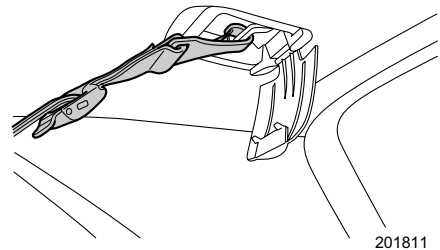
必ずISO FIX固定バーとテザーアンカーをセットで使用してください。セットで使用しない場合は、衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。  
 (詳しくは、チャイルドシート (別売) に付属の取扱説明書をご覧ください。)

## ●ワゴン

室内ルーフ後ろ側の左右にあるカバーを開けるとあります。カバーにはテザーアンカーを示すマークがあります。

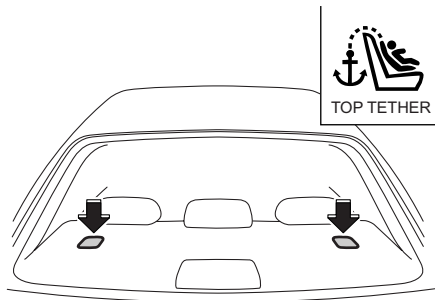


テザーベルトのフックをテザーアンカーに引っかけます。

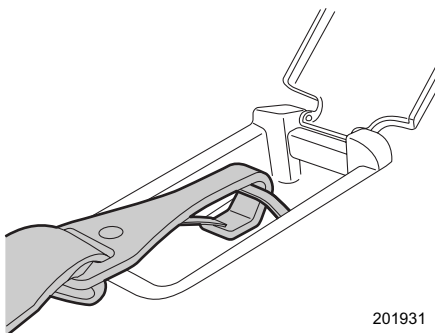


## ●セダン

リヤシートヘッドレストの後ろ側にあるカバーを開けるとあります。カバーにはテザーアンカーを示すマークがあります。



テザーベルトのフックをテザーアンカーに引っかけます。



## ■ISO FIXチャイルドシート（テザー式）を後ろ向き（乳児用）として使用する際の取り付けかた

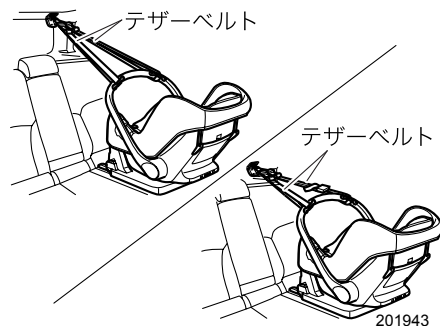
詳しい取り付け、取り外し方法については、別売のスバル純正 ISO FIX チャイルドシート（テザー式）に付属の取扱説明書をご覧ください。

### 警告

- 必ずISO FIX固定バーとテザーアンカーをセットで使用してください。セットで使用しない場合には、衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。（詳しくは、チャイルドシート（別売）に付属の取扱説明書をご覧ください。）
- ISO FIXチャイルドシートを取り付ける際は、固定専用のアンカー部およびベースシートのロック部にシートベルトや異物の噛み込みがないことを確認してください。シートベルトや異物が噛み込んだ場合、確実にロックされず、衝撃を受けたときに重大な傷害につながるおそれがあります。

運転する前に

- ①ヘッドレストを取り外します。
- ②背当ての下部のカバーをめくり、ISO FIX固定バーの位置を確認します。
- ③ベースシートをISO FIX固定バーに確実に取り付けます。
- ④ISO FIXチャイルドシート（テザー式）をベースシートに確実に取り付けます。
- ⑤ISO FIXチャイルドシート（テザー式）を軽くゆさぶり、ISO FIX固定バーに確実に固定されていることを確認します。
- ⑥室内後ろ側のテザーアンカーカバーを取り外します。
- ⑦ISO FIXチャイルドシート（テザー式）のテザーベルトをテザーアンカーに確実に引っかけます。
- ⑧ISO FIXチャイルドシート（テザー式）のテザーベルトがピンと張る（5kg程度）まで強く引っ張って、チャイルドシートの上側を確実に固定します。



### 注意

チャイルドシートを取り付ける際に、手を挟まないよう、気をつけてください。

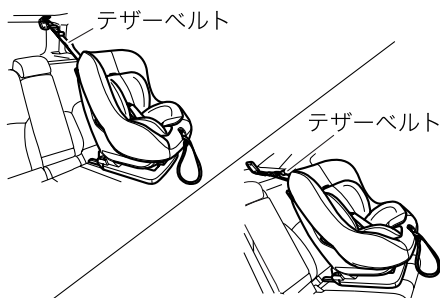
## ■ISO FIXチャイルドシート（テザー式）を前向き（幼児用）として使用する際の取り付けかた

詳しい取り付け、取り外し方法については、別売のスバル純正 ISO FIX チャイルドシート（テザー式）に付属の取扱説明書をご覧ください。

### 警告

- 必ずISO FIX固定バーとテザーアンカーをセットで使用してください。セットで使用しない場合には、衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。（詳しくは、チャイルドシート（別売）に付属の取扱説明書をご覧ください。）
- ISO FIXチャイルドシートを取り付ける際は、固定専用のアンカー部およびベースシートのロック部にシートベルトや異物の噛み込みがないことを確認してください。シートベルトや異物が噛み込んだ場合、確実にロックされず、衝撃を受けたときに重大な傷害につながるおそれがあります。

- ① リヤシートの背当てを正しく取り付けられる位置まで起こします。（ワゴン）
- ② ISO FIXチャイルドシート（テザー式）を取り付ける側のリヤのシートヘッドレストを取り外します。
- ③ 背当て下部のカバーをめくり、ISO FIX固定バーの位置を確認します。
- ④ ベースシートをISO FIX固定バーに確実に取り付けます。
- ⑤ ISO FIXチャイルドシート（テザー式）をベースシートに確実に取り付けます。
- ⑥ ISO FIXチャイルドシート（テザー式）を軽く上下左右にゆさぶり、ISO FIX固定バーに確実に固定されていることを確認します。
- ⑦ 室内後側側のテザーアンカーカバーを取り外します。
- ⑧ ISO FIXチャイルドシート（テザー式）のテザーベルトをテザーアンカーに確実に引っかけます。
- ⑨ ISO FIXチャイルドシート（テザー式）のテザーベルトがピンと張る（5 kg程度）まで強く引っ張って、チャイルドシートの上側を確実に固定します。
- ⑩ ISO FIXチャイルドシート（テザー式）のテザーベルトを軽く引っ張り、テザーアンカーに確実に固定されていることを確認します。



201942

### 注意

チャイルドシートを取り付ける際に、手を挟まないよう、気をつけてください。

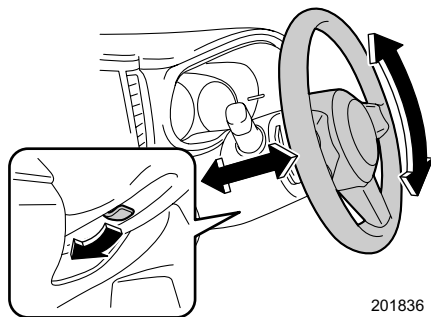


# ハンドルとミラーの調整

## チルト/テレスコピックステアリング

運転姿勢に合わせてハンドル位置を前後または上下に調整できます。

- ① チルト/テレスコピックレバーを押し下げます。
- ② ハンドル位置を合わせます。
- ③ チルト/テレスコピックレバーを引き上げます。
- ④ ハンドルが固定されたことを確かめてください。



201836

### 警告

調整は必ず走行前に行ってください。

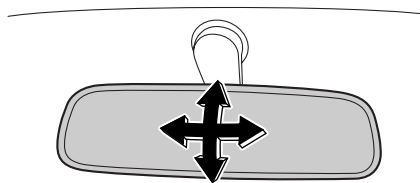
- 走行中に操作すると、ハンドルが動いて危険です。
- ハンドル位置を調整した後は、確実に固定してください。固定が不十分な場合、ハンドル位置が突然変わり、重大な事故につながる可能性があります。

運転する前に

## ルームミラー

### ■ 上下位置の調整

ミラー本体を動かして後方が充分確認できる位置に調整します。

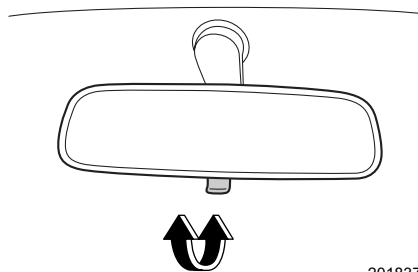


201777

## ■防眩ルームミラー

通常はレバーを前方に押した位置で使います。

夜間走行時、後続車のヘッドランプがまぶしいときは、レバーを手前に引きます。ランプの反射を弱くすることができます。



201837



**注意**

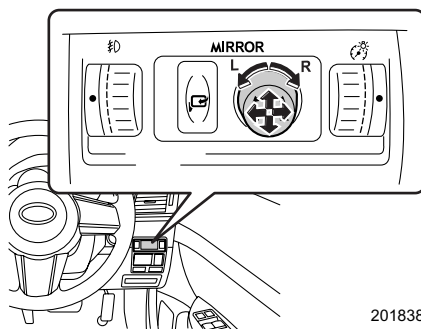
調整は必ず走行前に行ってください。

## ドアミラー

### ■電動リモコンドアミラー

エンジンスイッチがAccまたはONのとき、ミラーの調整ができます。

- ① 調整するミラーを選びます。  
スイッチを調整するミラー側に回して切り替えます。  
「L」：左側ミラー、「R」：右側ミラー
- ② スイッチを上下左右に動かして後方を充分確認できる位置に調整します。



201838

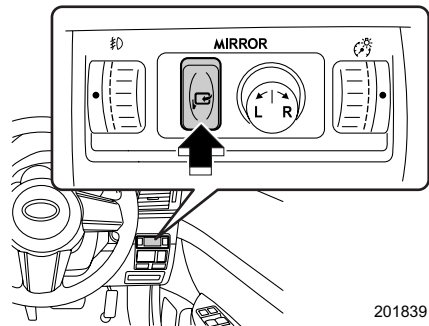


**注意**

調整は必ず走行前に行ってください。

## ■電動格納式ドアミラー

エンジンスイッチがAccまたはONのとき、左右のミラーを同時に格納できます。スイッチを押しこむと格納します。もう一度押すと元に戻ります。



201839

### 🏠 アドバイス

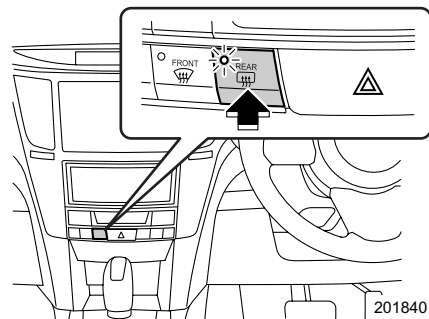
- 寒冷時は、作動の途中で止まることがあります。その場合はもう一度スイッチを押してください。スイッチを操作しても動かないときは、ドアミラーを手で数回動かすと作動するようになります。
- 格納スイッチを連続して「格納⇄元に戻す」を行うと作動しなくなることがあります。これは異常ではありませんので、しばらく待ってから作動させてください。
- 格納状態から手で元に戻すとドアミラーがグラグラすることがあります。必ず電動で元に戻してください。なお、ドアミラーがグラグラするときは、もう一度格納状態にしてから電動で元に戻してください。

## ■ヒートドドアミラー❄️

エンジンスイッチがONのとき使用できます。ドアミラーについた霜や曇りを取るのに使います。リヤウインドウデフォグガーに連動して作動します。

- スイッチを押すと、スイッチ内の表示灯が点灯し、約15分後、自動的にOFFになります。
- 作動中、途中で止めるときはスイッチをもう一度押します。
- リヤウインドウデフォグガーを連続作動に設定している場合は、連動して作動します。

☆3-21ページ参照



201840

### 🏠 アドバイス

消費電力が大きいので、連続しての使用や雪などを溶かすような使いかたは避けてください。

# MEMO